設置説明書

この機器の設置には資格が必要です。

食 器 洗 い 乾 燥 機

型　　式
RSW-SD401A,RSW-SD401AE,RSW-SD401UA,RSW-SD401UAE,RKW-SD401A,RKW-SD401AM RWX-SD401A,RWX-SD401UA

（工場管理）
JW0021-821×03（00）
260500Ⓐ
07000008079860

Rinnai

もくじ

1 安全上のご注意 — 1
2 各部の名称および寸法図 — 3
3 付属品の確認 — 4
4 設置場所について — 5
5 電気工事 — 7
6 配管工事 — 8
7 設置台の組み立て — 11
8 設置 — 17
9 設置後の点検 — 26
10 試運転 — 27
11 異常報知について — 28
12 けこみカバーの取り付け — 30
13 冷却排水の設定 — 32
14 お客様への説明 — 32
15 仕様 — 35

設置される方へのお願い

- **この機器を正しく安全にご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みになり、法律に基づいて指定された設置を行ってください。**
- **配管工事はすべて、水道法、建築基準法、各都市の条例規定に準じてください。**
- **設置が終ったら「9　設置後の点検」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。**
- **試運転終了後、止水栓を開いたままにしておいてください。また長期間使用しない場合は、安全のため家屋の元水栓を閉めてください。また配電盤のブレーカは OFF にしないでください。**

1 安全上のご注意

この設置説明書では製品を正しく設置をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されることを表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が軽傷を負う可能性が想定される、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。


一般的な注意（警告含む）


一般的な禁止


必ず行う


アース線の接続

◉設置完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

⚠警告	
お客様へ	**■据え付けはお買い上げの販売店、または専用業者に依頼する** ご自分で据え付けをされ不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。

⚠警告

設置される方へ

■アースを確実に取り付ける

●故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

●アースの取り付けは販売店にご相談ください。

■定格15A のコンセントを単独で使用する

他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分の場合、感電や発火の原因になります。

■機器は水平器を用いて、水平で安定した場所に設置する

万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなることがあります。

⚠注意

設置される方へ

■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

■交流100V 以外では使用しない

火災・感電の原因となります。

■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

■設置部品は必ず付属品および指定部品を使用する

当社指定部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因になります。

■機器の移動や据え付け時は手袋をして作業を行う

万一のけが防止のためです。

■給湯（給水）、排水配管の端面はバリのないよう処理する。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除く

配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。

■凍結のおそれがある場所（室温 0 ℃以下）へは設置しない

水漏れの原因になります。

■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。

■設置および試運転終了後、配電盤のブレーカは OFF にしない

ブレーカが OFF になっていると、万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなることがあります。

■元付け型の浄水器に接続しない

元付け型の浄水器に接続した場合、残留塩素濃度が0.1ppm 未満となり屋内に給水される水が細菌などに汚染されるおそれがあります。※水道法の基準は0.1ppm 以上

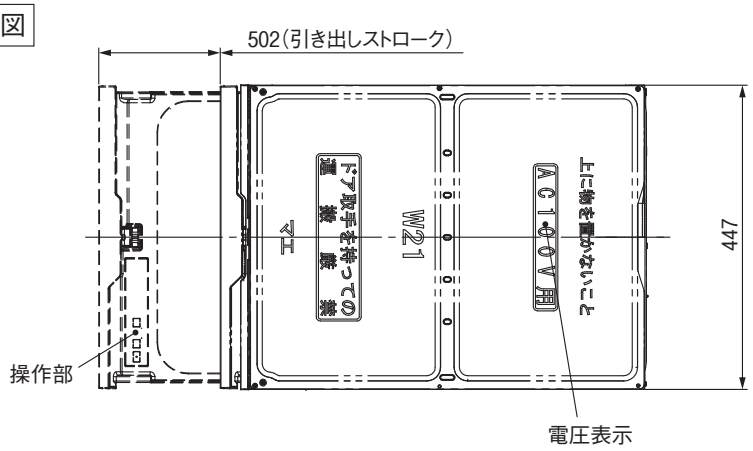
2 各部の名称および寸法図

◉ビルトイン奥行き650mm 以上必要です。

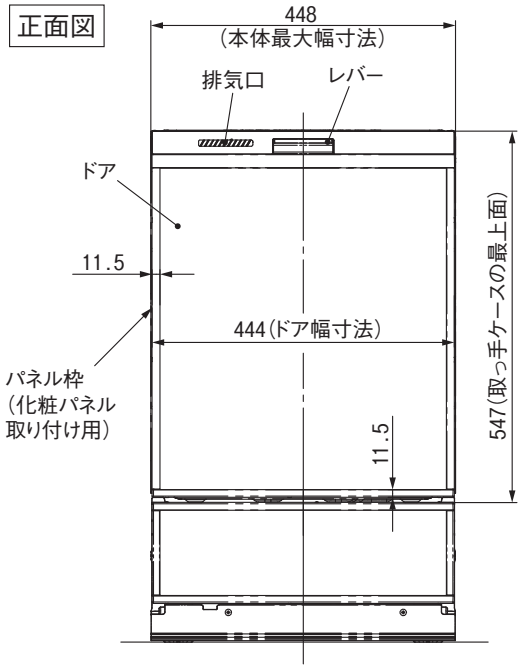
※本機は、奥行き600mm のキッチンには設置できません。

（単位：mm）

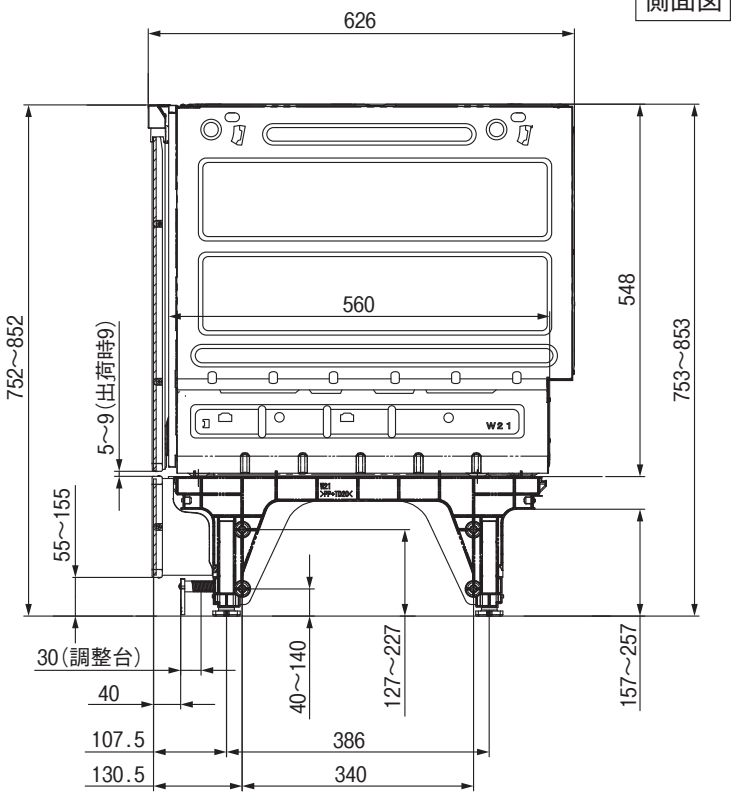
平面図



正面図



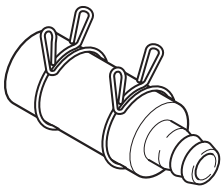
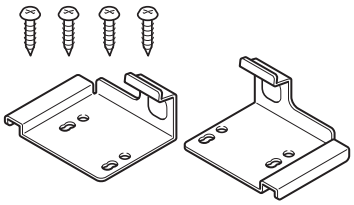
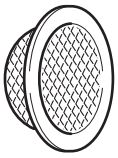
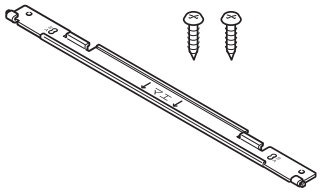
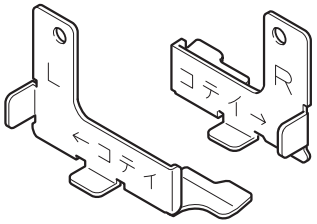
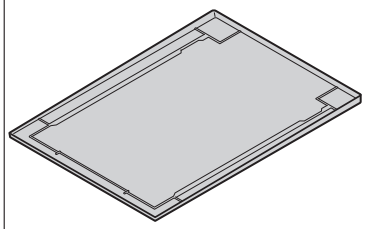
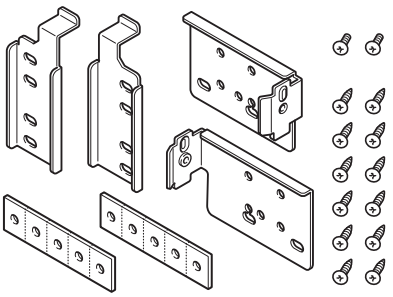
側面図



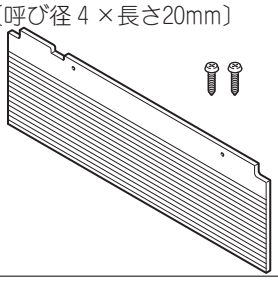
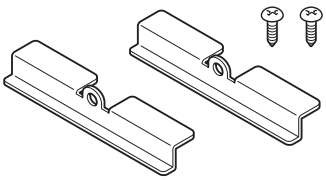
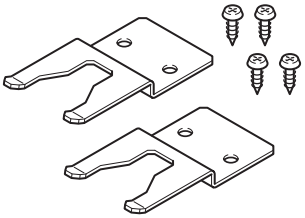
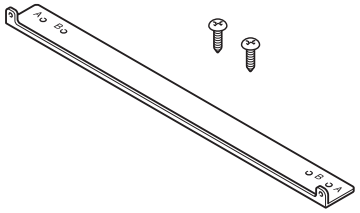
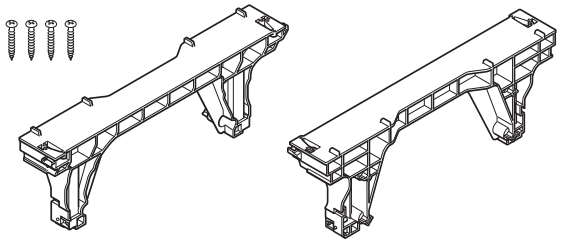
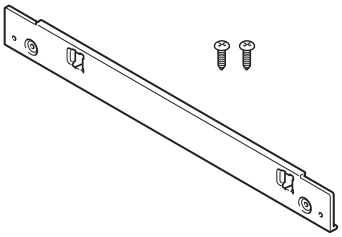
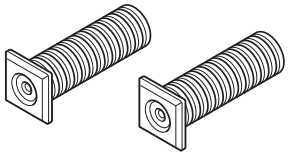
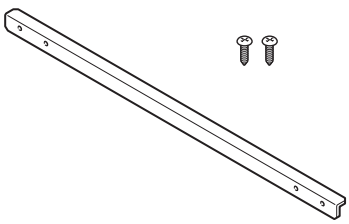
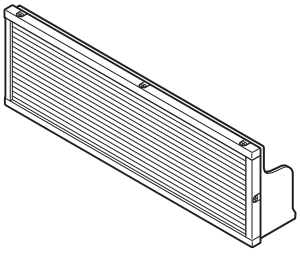
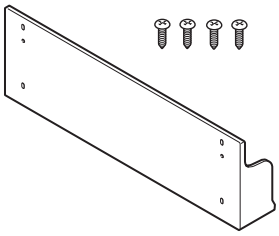
（図1）

3 付属品の確認●設置を始める前に付属品の有無を確認してください。

◉本体内同梱部品（金具取付シートは本体の側に梱包してあります。）

設　置　に　必　要　な　付　属　品			
○接続ジョイント （ホース、ソケット、 ホースバンド（2個）のセット） 	○転倒防止金具K（右、左） ○先トガリねじ（4本） 〔呼び径4×長さ12mm〕 	○フィルター付パッキン  ※フィルター付パッキンは給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っています。	○移動防止金具K ○先トガリねじ（2本） （予備が2本入っています） 〔呼び径4×長さ12mm〕 
○移動防止金具P（右、左） （2個） 	○金具取付シート 	○取り付けフック上（2個） ○取り付けフック下（2個） ○先トガリねじ（12本） 〔呼び径4×長さ12mm〕 ○タッピンねじ（2本） ○スペーサー（2個）  ※ RKW-SD401AM のみ	

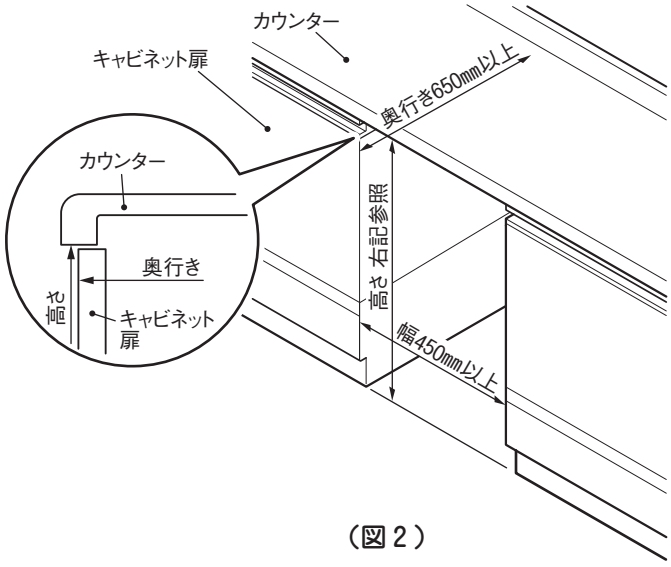
◉本体の上に梱包してある部品

設　置　に　必　要　な　付　属　品			
○けこみカバー（1個） ○タッピンねじ（2本）（黒頭） 〔呼び径4×長さ20mm〕 	○移動防止金具前（2個） ○先トガリねじ（2本） 〔呼び径4×長さ12mm〕 	○転倒防止金具（2個） ○先トガリねじ（4本） 〔呼び径5×長さ16mm〕 	○移動防止金具A（1個） ○先トガリねじ（2本） 〔呼び径4×長さ12mm〕 
○設置台（調節脚付）（2個） ○先トガリねじ（4本） 〔呼び径4×長さ25mm〕 		○台つぎ板前 ○タッピンねじ（2本） 	○けこみ取付調節ねじ（2個） 
○台つぎ板後 ○タッピンねじ（2本） 	○下パネル（パネルタイプのみ） 	○下パネル（面材タイプのみ） ○先トガリねじ（4本） 〔呼び径4×長さ12mm〕 	

4 設置場所について

1 設置場所の確認

1．ビルトインスペースの確認



（図２）

中間にビルトインする場合（図２）

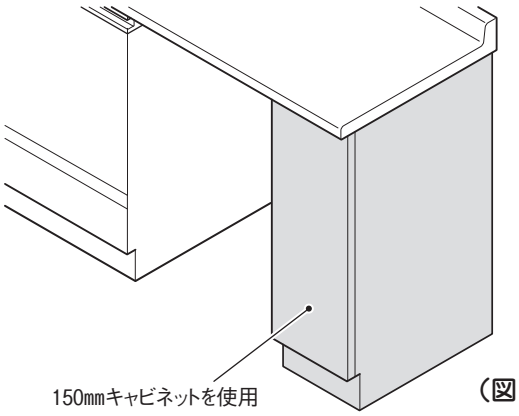
	キッチンの高さ	カウンター下面から設置面までの高さ
高さ	900mm の場合▶854.5mm 以上	
	850mm の場合▶804.5mm 以上	
	800mm の場合▶754.5mm 以上	

◉ビルトイン後も製品のメンテナンスのため、本体の前面に750mm 以上のスペースを確保してください。

※奥行き：キャビネット扉前面からの寸法
　幅　：設置ペースの内側の寸法
　高　さ：設置面から
　　カウンター下面までの寸法

片側がフリーの場合（図３）

◉片側がフリーの場合、幅150mm キャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



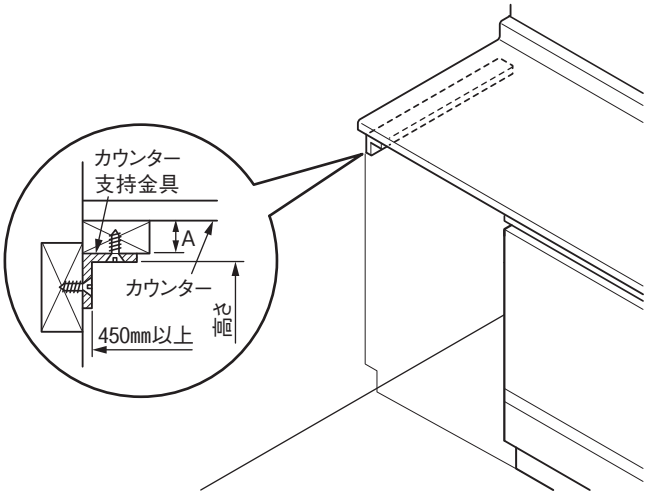
（図３）

片側が壁面または、トールユニットの場合（図４）

◉カウンター支持金具は市販のＬ金具を使用します。

※締結ねじの長さは、右図のⒶ寸法より5mm 以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。法令（電気設備の技術基準の解釈）により義務づけられています。

◉ビルトイン型加熱機器などと並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。（市販のＬ金具を使用します。）



（図４）

1 設置場所の確認

お願い

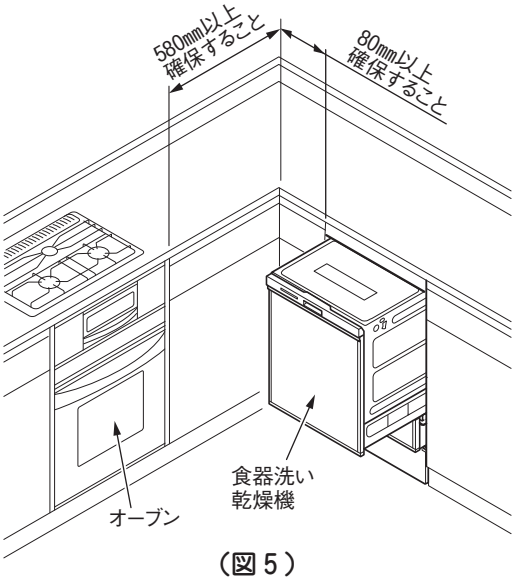
◉ L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブンの取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。（図５）

※本体の金属部品が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。法令（電気設備の技術基準の解釈）により義務づけられています。

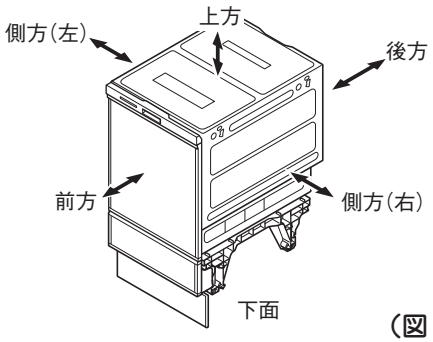
◉ この食器洗い乾燥機は「消防法告示第一号（対象火気設備などおよび火気器具などの離隔距離に関する基準）」に適合しております。
建築物の可燃物などからの離隔距離は以下の表に掲げる値以上の距離を保ってください。（図６）

消防法　基準適合　組込型			
可燃物からの離隔距離（cm）			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0

◉ 片側に調理器具があり、かつ底面がコンクリート等の場合は、設置できません。



（図５）



（図６）

5 電気工事

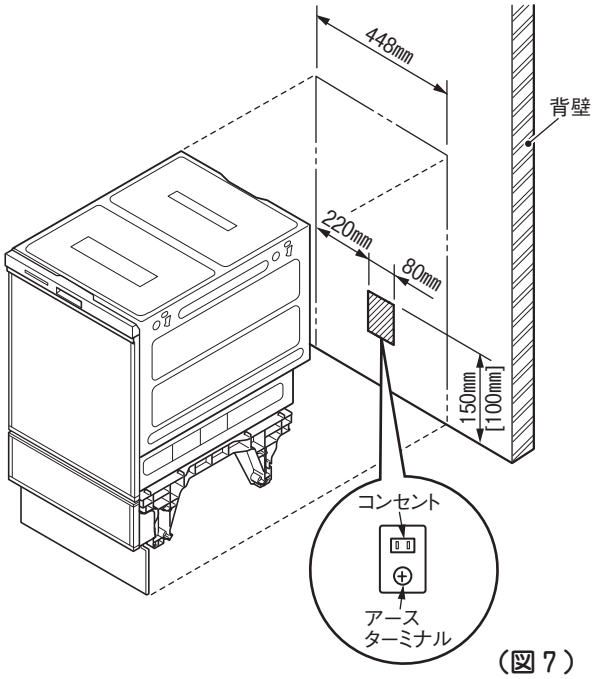
1 電源の確認

■工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください

◉電源回路は100V、15A の専用回路が必要です。

◉本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた位置（図７）に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
（コンセントは125V、15A のアースターミナル付埋め込みコンセントを設けてください。）

◉本体の電源（電圧、周波数）表示は銘板に示しています。
（26ページの図71）



（図７）

※寸法はキッチン高さ850mm の場合、
［ ］はキッチン高さ800mm の場合

⚠警告

■15A のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用したり、容量以下のものは、異常発熱して発火する原因になります。

⚠注意

■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。
漏電しゃ断器は、住宅分電盤用小型漏電ブレーカー（定格電流15A、感度電流15mA）をご使用ください。

2 アースについて

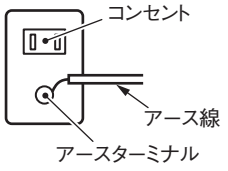
◉市販の炭素接地棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
（電気工事士の有資格者がＤ種（第３種）接地工事をするよう法令で定められています。）

◉ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令などで禁止されています。）

◉アースターミナル付埋め込みコンセントは、接地抵抗値（100Ω以下）をご使用ください。
（接続方法は18ページの図42参照）

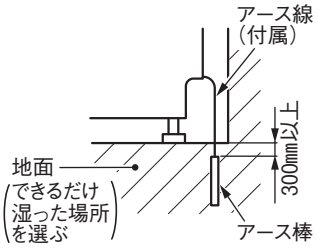
◉設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
（アース工事は有料ですのでご了承ください。）

アースターミナル付埋め込みコンセントの場合



（図８）

アース棒を使用の場合



（図９）

⚠警告

■アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース確認

■アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しない

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

6 配管工事

1 配管工事

給湯・給水工事、排水工事例

■本機は配管直結タイプですので設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください

◉給水装置工事（配管工事）は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。

◉給湯管は給湯用塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用してください。

◉配管工事が図13～15の寸法になっているか確認してください。（必ず床上に、この寸法で配管してください。）

◉排水配管は呼び径以上のものを使用してください。かつ曲折部は90°ベンド、45°ベンドを使用してください。

◉給湯（給水）、排水配管の端面は、バリのないよう処理してください。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。

◉排水本管に至るまでの接続部品（図示していない）も耐熱塩ビを使い、配管用接着剤は耐熱用を使用してください。

◉本機が使用できる水道圧力は0.03～1 MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

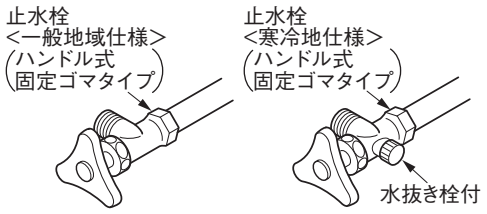
水漏れの原因になります。

■70℃以上のお湯が供給される給湯（水）栓への配管には接続しない

故障の原因になります。

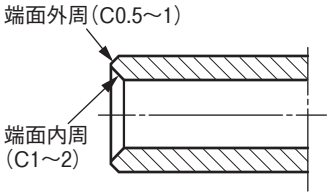
◉アングル型止水栓または、ストレート型止水栓（ハンドル式固定ゴマタイプ）を必ず取り付けてください。（図10）

※寒冷地に設置する場合は、水抜き弁を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。



（図10）

◉排水管 HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。端面外周は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。（図11）



（図11）

給湯器の確認

◉給湯接続の場合は10号以上のガス給湯器、石油給湯器、中型以上の深夜電力利用温水器などで70℃未満の温度に調整可能な機器に接続してください。

⚠注意

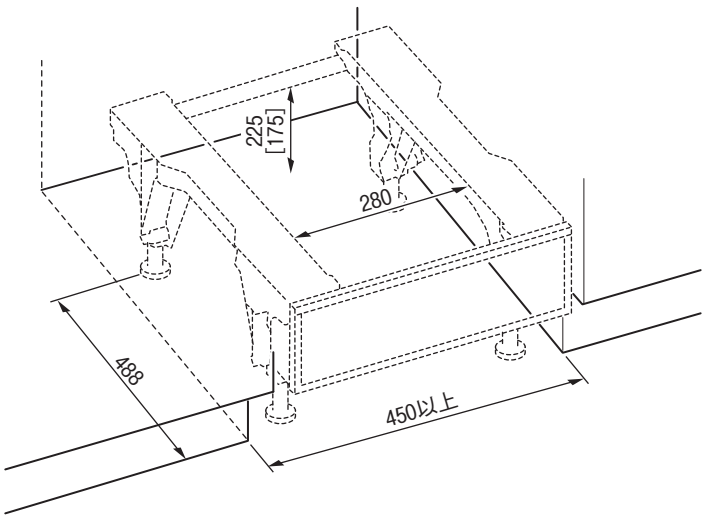
■元止め式ガス湯沸器、小型深夜電力利用温水器からの配管は絶対しない

■特に高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧する

設置台スペース

◉このスペースには設置台が入るため、配管時には気をつけてください。
配管を下記範囲内に設置した場合、設置台に干渉するおそれがあります。

（単位：mm）



（図12）

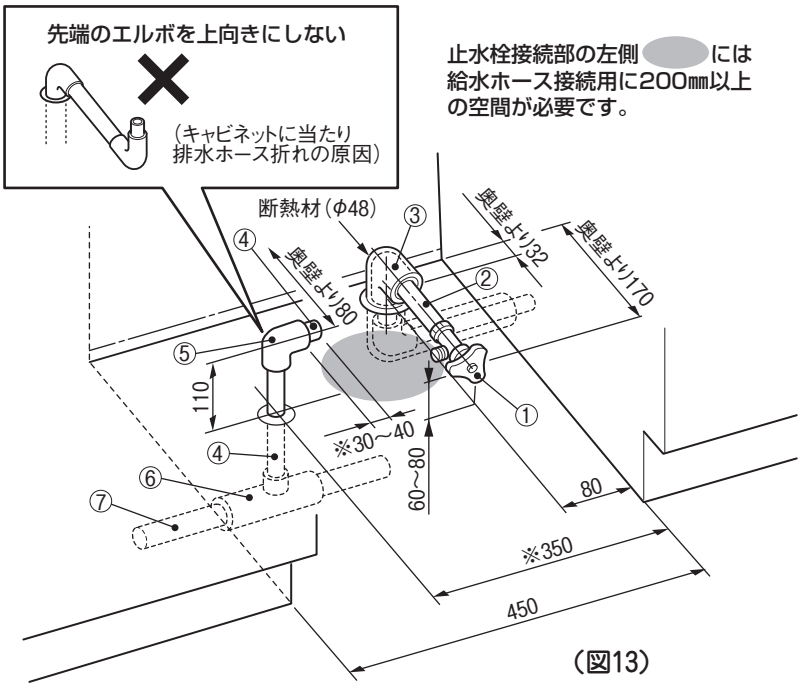
（注）参考寸法となりますので、設置台と配管が干渉しないことを確認しながら設置してください。
※寸法はキッチン高さ850mm の場合、［ ］はキッチン高さ800mm の場合

配管例

◉※印寸法は必ずお守りください。排水ホースが折れ排水不良の原因となります。
◉給水ホースが止水栓に当たる場合は、フレキシブルホース（現地手配品）などを使用してください。
◉下記配管例以外の施工をする場合はお買い上げの販売店へご相談ください。
（注）床からの寸法は、キャビネットなどの設置時に床面に干渉しないための推奨寸法です。

（単位：mm）

床立上げの配管例



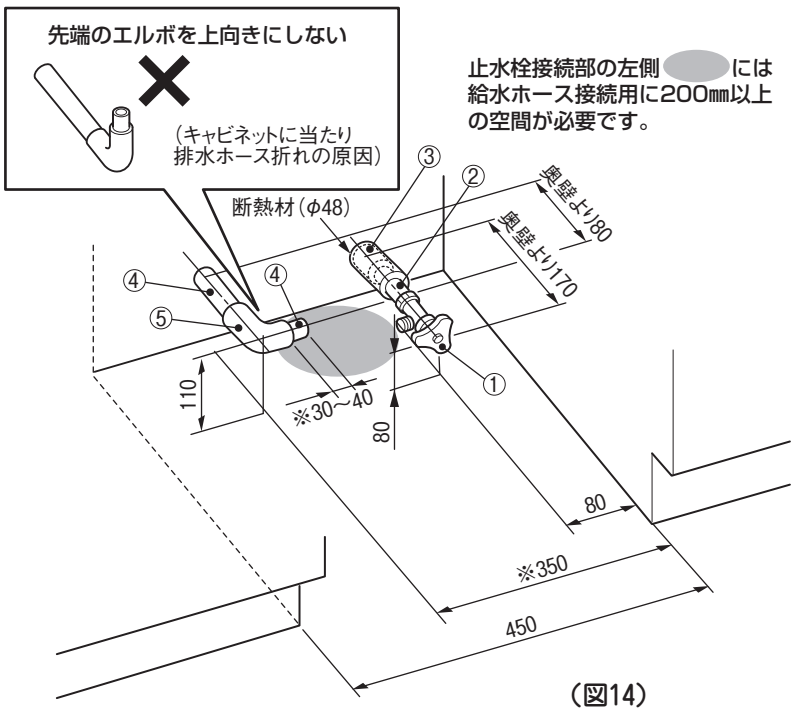
（図13）

給水（給湯の場合は耐熱配管）
①アングル型止水栓
（ハンドル式固定ゴマタイプ）
②硬質塩化ビニルライニング鋼管
③ Rc1/2エルボ

排水（耐熱塩ビ使用のこと）
④ HT20
⑤ HT20エルボ
⑥ HT40×20チーズ
⑦ VP40

壁出しの配管例

（単位：mm）



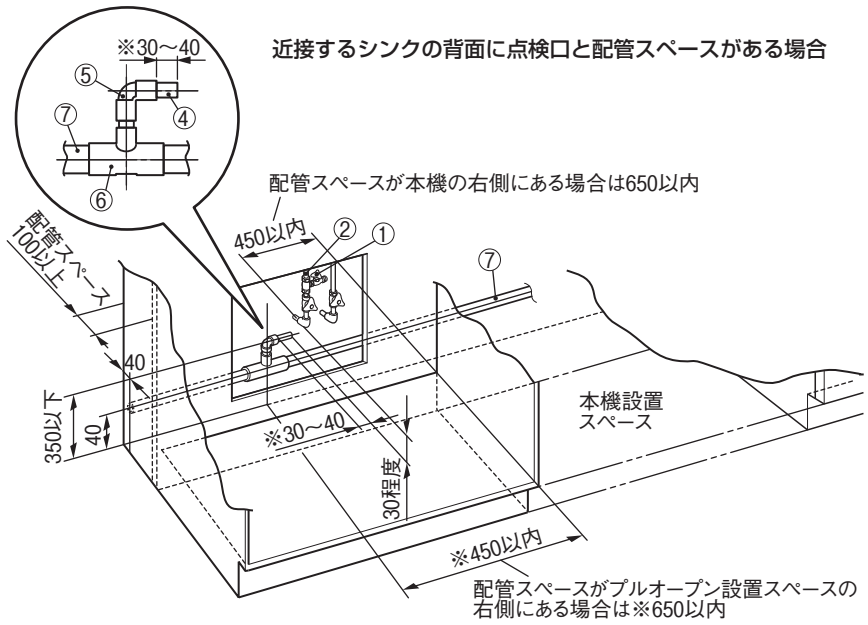
給水（給湯の場合は耐熱配管）
①アングル型止水栓
（ハンドル式固定ゴマタイプ）
②硬質塩化ビニルライニング鋼管
③ Rc1/2ソケット

排水（耐熱塩ビ使用のこと）
④ HT20
⑤ HT20エルボ

（図14）

床ころがしの配管例

（単位：mm）



給水（給湯の場合は耐熱配管）
①アングル型止水栓
（ハンドル式固定ゴマタイプ）
②硬質塩化ビニルライニング鋼管
③チーズ

排水（耐熱塩ビ使用のこと）
④ HT20
⑤ HT20エルボ
⑥ HT40×20チーズ
⑦ VP40

（図15）

◉本機が使用できる水道圧力は0.03～1MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

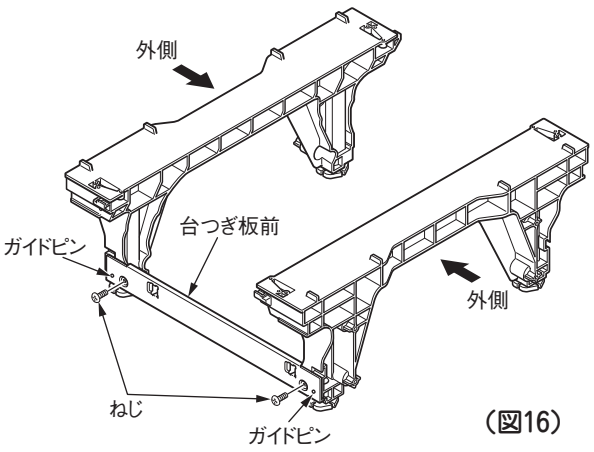
■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因になります。

7 設置台の組み立て

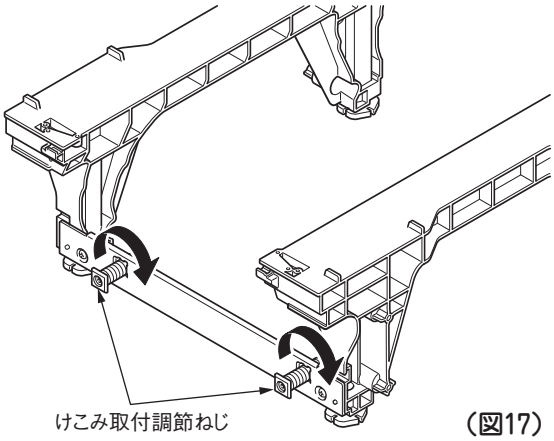
1 設置台の組み立て

①設置台のガイドピンに台つぎ板前を合わせて、タッピンねじ2本で取り付けてください。(図16)
※設置台に左右の区別はありません。凹んでいる箇所を外側にしてください。



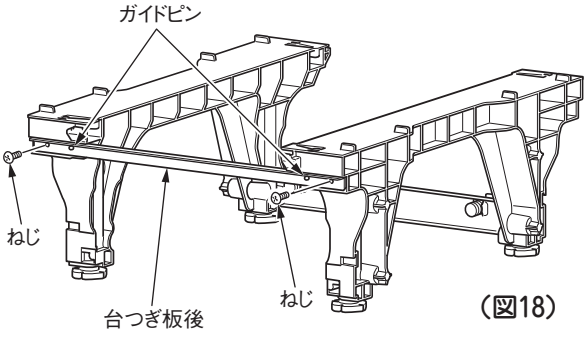
(図16)

②けこみ取付調節ねじを台つぎ板前に取り付けてください。(右回し)けこみ取付調節ねじが半分程度入るようにします。(図17)



(図17)

③設置台のガイドピンに台つぎ板後を合わせて、タッピンねじ2本で取り付けてください。(図18)
※台つぎ板前と反対側に取り付けてください。

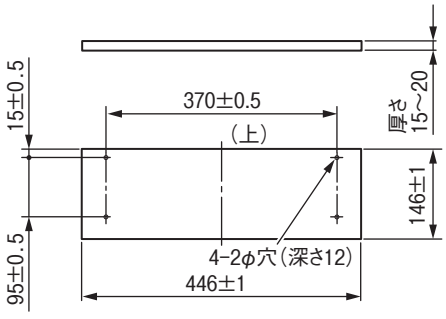


(図18)

2 面材・パネルの下パネルへの取り付け

面材タイプの場合

(面材は別売品です。)
①面材に下穴が開いていない場合は右図の位置に下穴を開けてください。(図19)



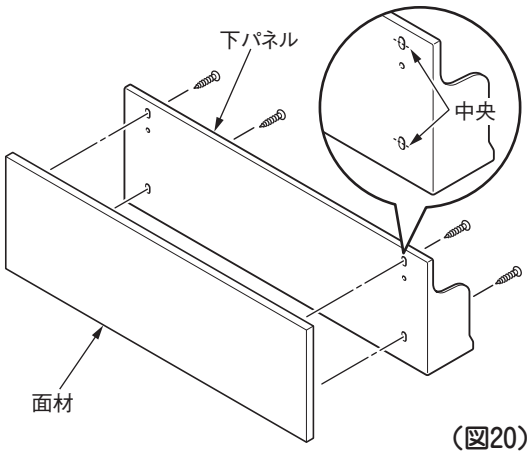
(図19)

②下パネルの長穴の中央に面材の締め付け穴を合わせ、ねじ（ 先トガリねじ：４本）で取り付けます。（図20）

⚠注意

■電動ドライバーは使用しない

取り付けねじの頭や面材が使用できなくなり、固定できなくなるおそれがあります。



（図20）

パネル（化粧板）タイプの場合

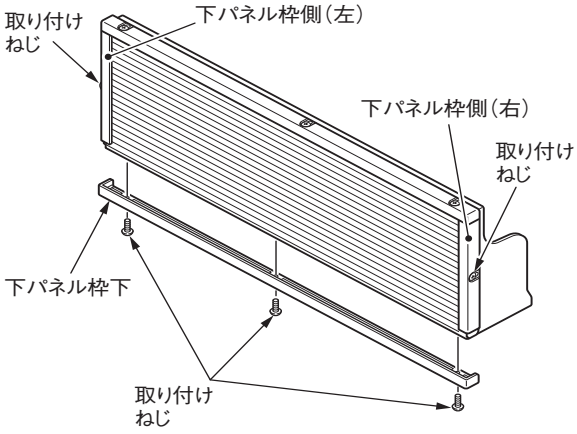
（パネルは別売品です。）

①下パネル枠下の取り付けねじ（３本）をはずして下パネル枠下をはずしてください。（図21）

⚠注意

■先に下パネル枠（左右）を無理にはずさない

破損の原因になります。



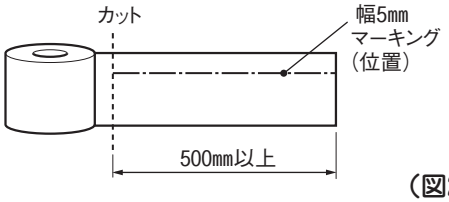
（図21）

②下パネル枠側（左右）取り付けねじ（各１本）をはずして下パネル枠側（左右）をはずしてください。（図21）

③化粧パネルの防水処理を下記の方法で必ず実施してください。

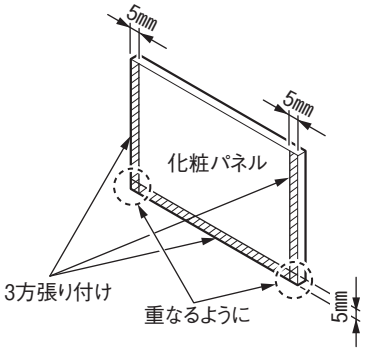
⑴幅50mm の離型紙付アルミ粘着テープ（現地調達品）を準備してください。

⑵500mm 以上で少し長めにカット（３枚用意してください）した後、硬めのシャープペンシルなどで幅５mm の位置にマーキングしてください。（図22）



（図22）

⑶アルミ粘着テープの離型紙をはがし、マーキング跡にパネル表面側（化粧面）下端を合わせてセットし張り付け、（幅５mm を表面側に張り付ける）あまりは裏面側へと張り付けてください。化粧パネルからハミ出た部分は切り取ってください。（図23）



（図23）

お願い

◉アルミ粘着テープの表面側は、５mm 幅を必ずお守りください。

◉アルミ粘着テープを張り付ける際は、シワのないように張り付けてください。

⑷同様に左右２カ所も行ってください。このとき下端と重なる角は、アルミテープをそのまま重ねて張り付けてください。（図23）

2 面材・パネルの下パネルへの取り付け

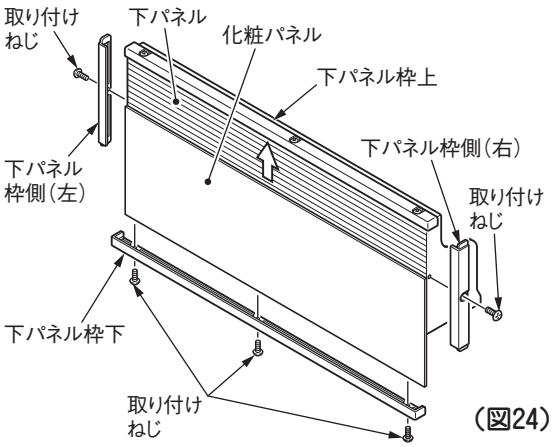
④化粧パネルを下パネル枠上のすき間に挿入して、化粧パネルを押し付けながら下パネル枠側（左右）を取り付け、取り付けねじ（各１本）で締め付けてください。（図24）

⑤下パネル枠下を取り付け、取り付けねじ（３本）で締め付けてください。（図24）

⚠注意

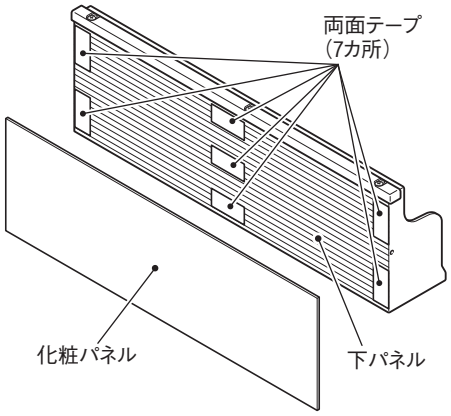
■電動ドライバーは使用しない

パネル枠（樹脂）が変形するおそれがあります。



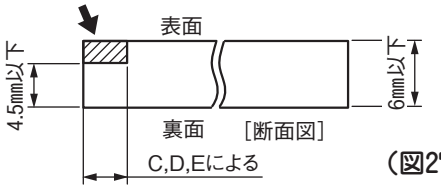
（図24）

※化粧パネルの厚みによっては化粧パネルが浮くことがありますので、両面テープ（現地調達品）で下パネルに仮付けしてください。（図25）



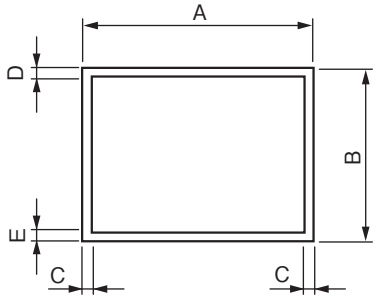
（図25）

厚さ4.5mm を超えるパネルをご使用になる場合は、外周（斜線で指定した部分）の表面を、厚さ4.5mm 以下になるようにけがき線を入れ、斜線部を削り取ってください。ただし、６mm を超えるパネルは使用できません。



（図27）

化粧パネルの寸法



（図26）

（単位：mm）

	寸　法
A	433± 1
B	141± 1
C	6.5
D	6.5
E	8.5

3 設置台の高さ調整

◉本機を設置するキッチンの高さに応じて、設置台の調節脚の出代の調整を行ってください。（図28）

※カウンター下面とのすき間を調整するためです。

◉調節脚には、出代約50mm と約100mm の位置に溝があります。

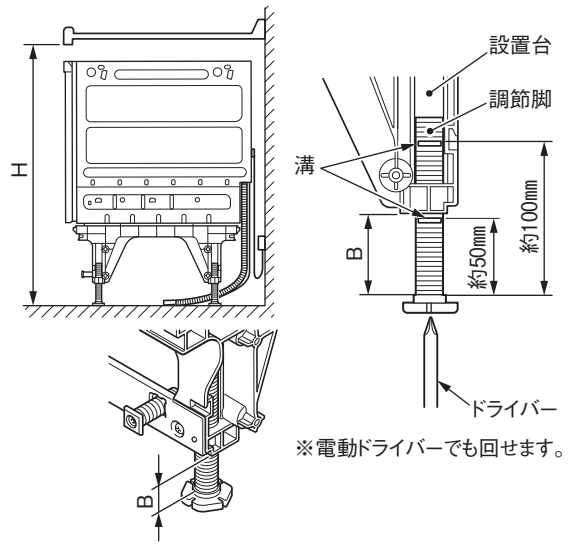
①カウンター下面より設置面までの高さ「H」を測定してください。

②調節脚の出代「B」を次の式で求めてください。

B＝H -756

※「B」はHから器具高さと器具上面のすき間を引いた値です。

③調節脚を回転させて「B」寸法になるように出代を調整してください。



※電動ドライバーでも回せます。

（図28）

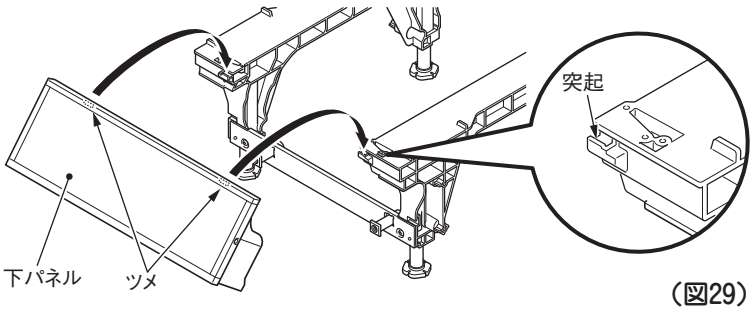
本体とカウンター下すき間

（単位：mm）

B	H	すき間
0	756	3.0

※寸法は目安です。必要に応じて高さ調整してください。

①面材またはパネルを取り付けた下パネルのツメを設置台の突起にはめ込み、カチッと音がするまで下方を押して取り付けてください。（図29）



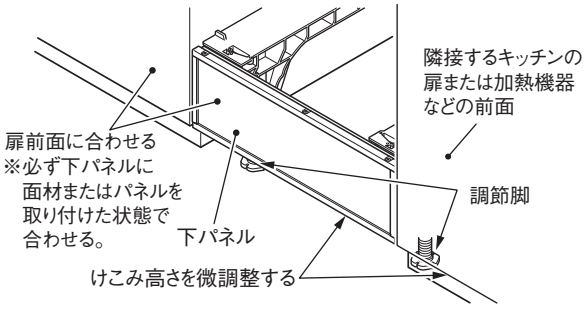
（図29）

②設置台を設置スペースにビルトインし、下パネルの位置を調整してください。（図30）

前面：面材またはパネル前面を隣接するキッチンの扉前面に合わせます。

下面：調節脚でキッチンのけこみ高さに微調整します。

※水準器などを用いて、前後方向、左右方向に傾きがないように調整してください。



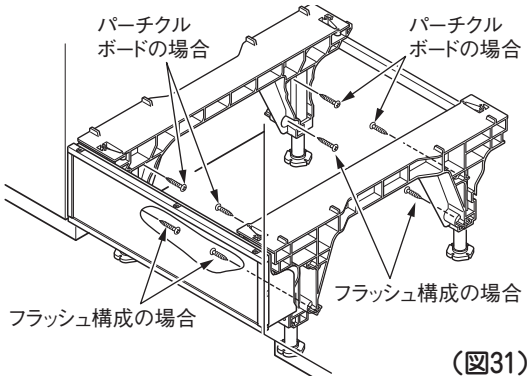
（図30）

③先トガリねじ（呼び径４×長さ25mm）（４本）で、設置台を隣接するキャビネットの側板に締め付け固定してください。（図31）

※キャビネットの側板が、パーチクルボードの場合は上の穴、フラッシュ（中空）構成の場合は下の穴で調整してください。

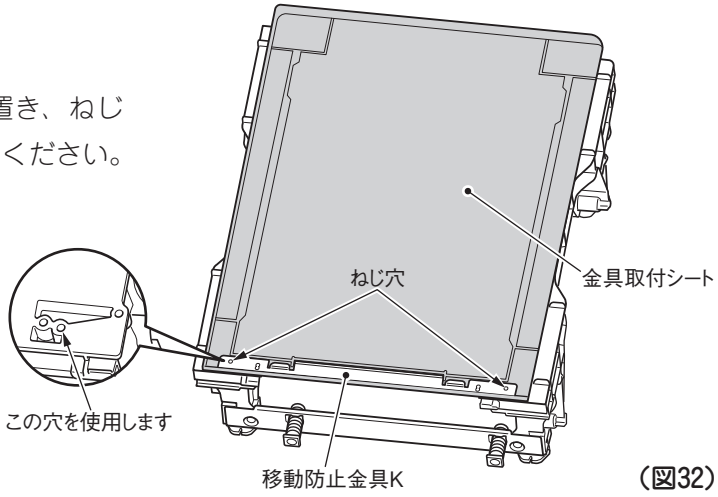
※片側に加熱機器などがある場合は、「５．片側が加熱機器などの場合の設置」を参照してください。

※側板の板厚に注意し、ねじの先端が貫通しないように注意してください。



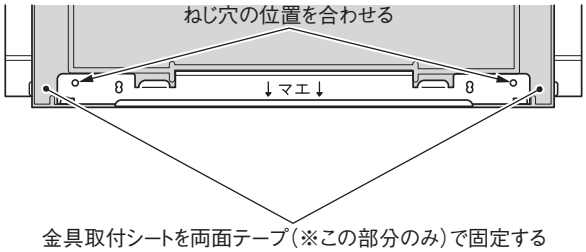
（図31）

④設置台に金具取付シート、移動防止金具Ｋを置き、ねじ穴を合わせて金具取付シートの位置を確認してください。（図32）（図33）



（図32）

⑤両面テープの離型紙を一部剥がして金具取付シートを設置台に取り付けてください。（図33）



（図33）

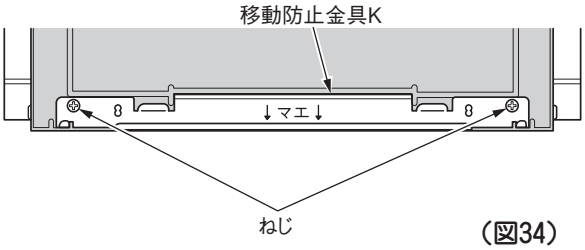
⑥移動防止金具Kを 2 本の先トガリねじで設置台に取り付けてください。(図34)

※金具取付シートにはあらかじめ穴は開いていませんので、ねじで金具取付シートを打ち抜いてください。

⚠注意

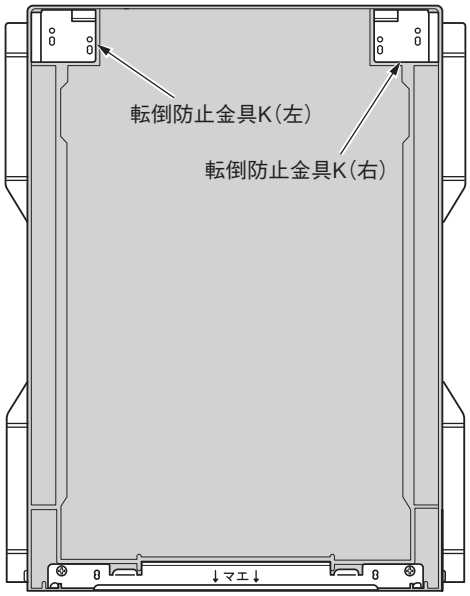
■電動ドライバーは使用しない

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



(図34)

⑦転倒防止金具K（左右）を金具取付シートに置いてください。(図35)



(図35)

⑧転倒防止金具K（左右）を 4 本の先トガリねじで B の穴を使用して金具取付シートに取り付けてください。(図36)

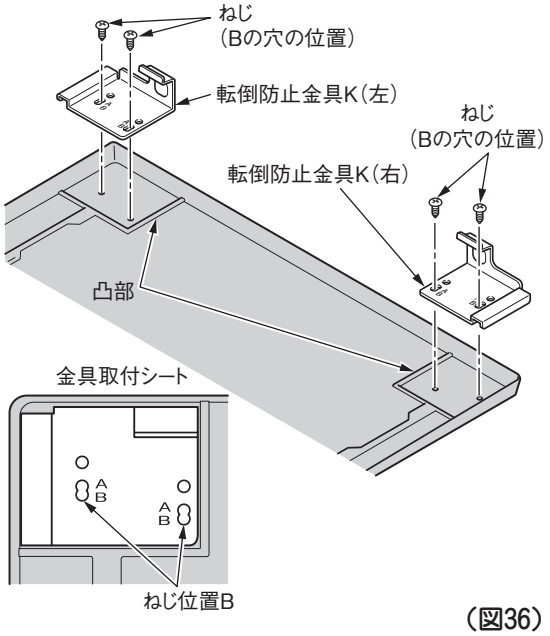
※金具取付シートにはあらかじめ穴は開いていませんので、ねじで金具取付シートを打ち抜いてください。

※金具取付シートの凸部をのりこえないように転倒防止金具Kを押さえながら、取り付けてください。

⚠注意

■電動ドライバーは使用しない

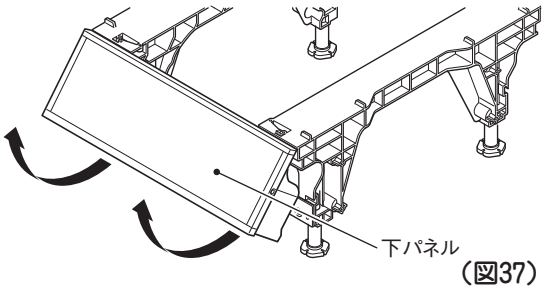
ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



(図36)

⑨下パネルの下辺部を手前に引き、設置台から取りはずしてください。(図37)

※下パネルは「試運転」終了まで取りはずした状態にしておきます。

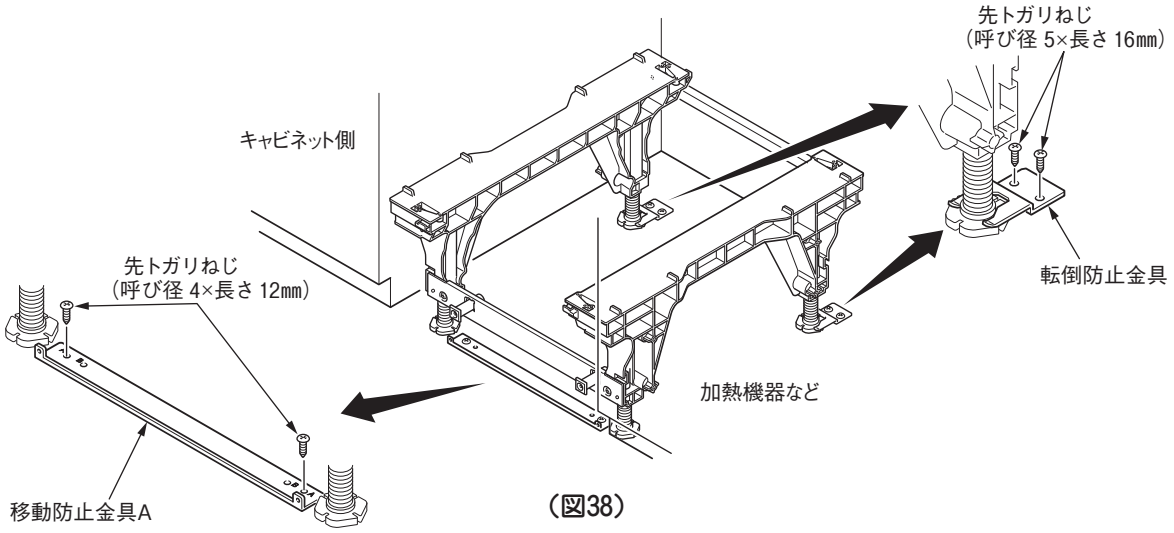


(図37)

5 片側が加熱機器などの場合の設置

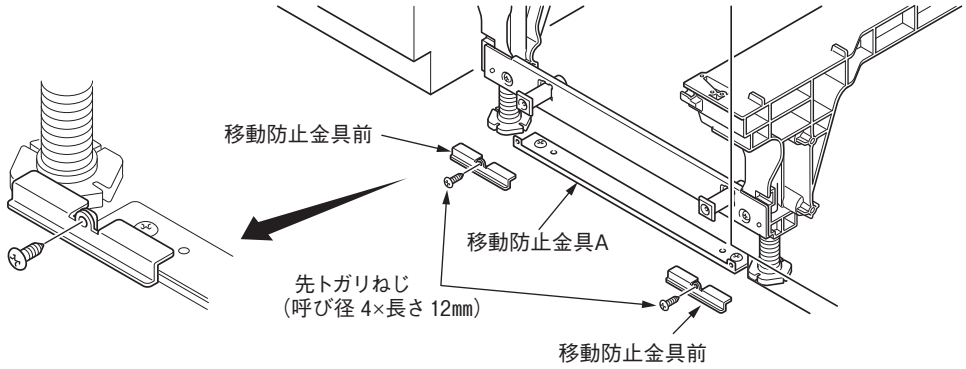
※加熱機器側には先トガリねじ（呼び径 4 ×長さ25mm）は取り付けられないため、調節脚固定用の移動防止金具 A と転倒防止金具の取り付けが必要です。
この場合も、「 4 . 設置台の設置」①②④⑤⑥⑦⑧⑨は行ってください。

①移動防止金具 A と転倒防止金具を下図のように置き、移動防止金具 A の「A」のねじ穴（ 2 カ所）と転倒防止金具のねじ穴（ 4 カ所）にマーキングしてください。（図38）
②設置台、移動防止金具 A と転倒防止金具を取りはずし、マーキング部にφ 3 の穴をあけてください。
③転倒防止金具を先トガリねじ（呼び径 5 ×長さ16mm）（ 4 本）で取り付けてください。（図38）
※転倒防止金具前は左右共通です。
④設置台を再度設置して前後上下の位置を合わせ、キャビネット側の設置台を先トガリねじ（呼び径 4 ×長さ25mm）（ 2 本）で側板に締め付け固定してください。（図38）
※キャビネットの側板が、パーチクルボードの場合は上の穴、フラッシュ（中空）構成の場合は下の穴で調整してください。
⑤移動防止金具 A を先トガリねじ（呼び径 4 ×長さ12mm）（ 2 本）で取り付けてください。（図38）



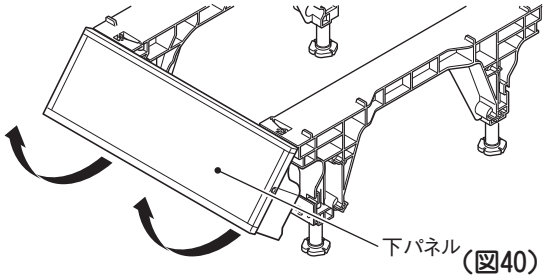
（図38）

⑥移動防止金具前を先トガリねじ（呼び径 4 ×長さ12mm）で移動防止金具Ａに固定してください。（図39）
※移動防止金具前は左右共通です。



（図39）

※下パネルは「試運転」終了まで取りはずした状態にしておきます。（図40）



（図40）

8 設　置

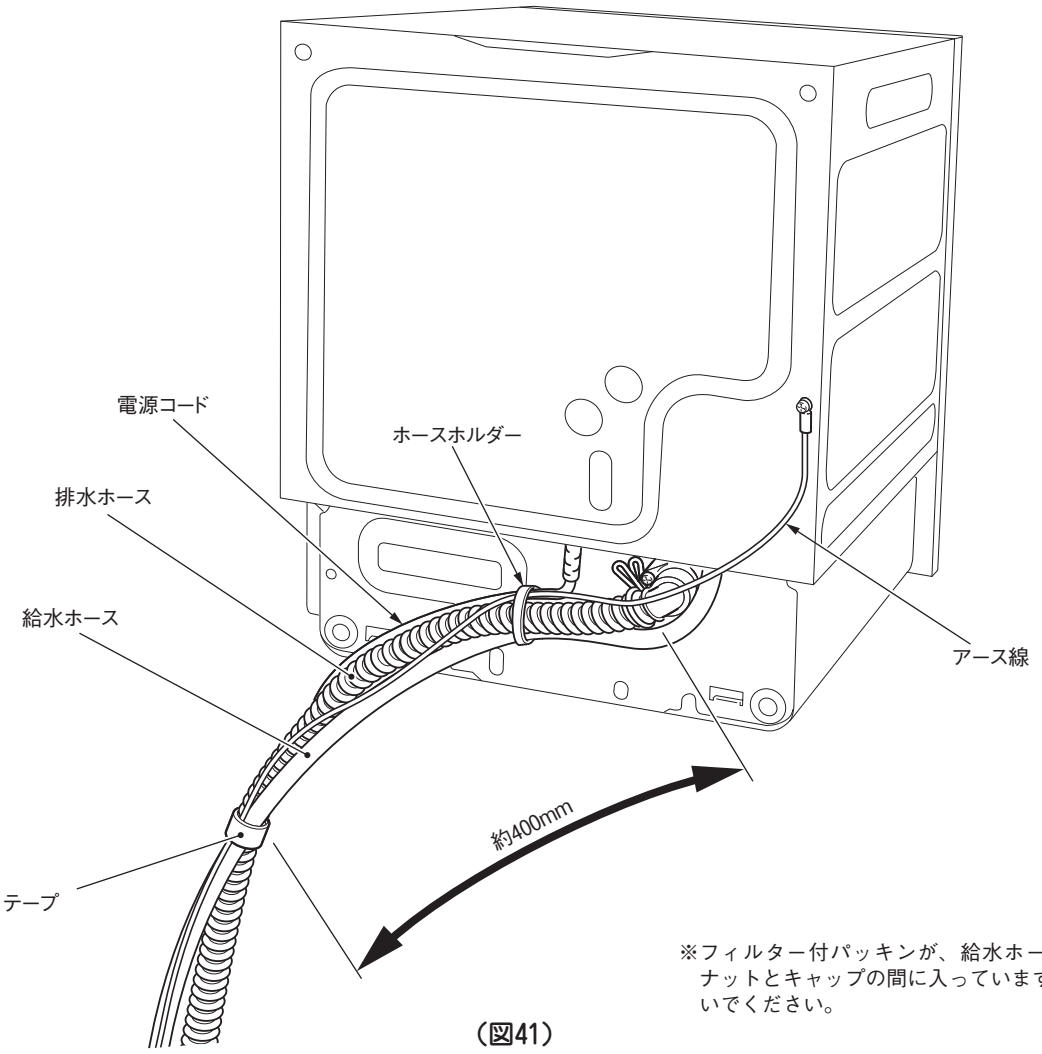
1 ホース、コード類の結束

◉本体後面の給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を下図のようにテープで結束してください。

お願い

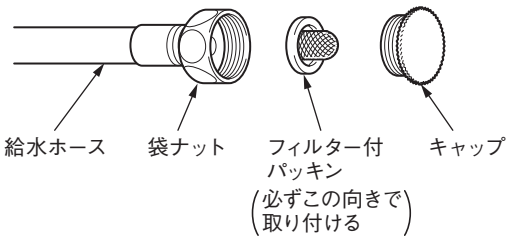
◉本体をキャビネットにビルトインする時に電源コード、アース線、ホース類が転倒防止金具にかみ込まないようにするためです。また、作業も容易になります。必ず行ってください。

◉はさみでホースホルダーを切って、電源コード、アース線、ホース類を傷つけないようにホースホルダーからはずしてください。



（図41）

※フィルター付パッキンが、給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っていますのでなくさないでください。



⚠注意

■ホースホルダーを切る際に、電源コード、アース線、ホース類を傷つけない

■給水ホース、排水ホースの上に本体を載せない

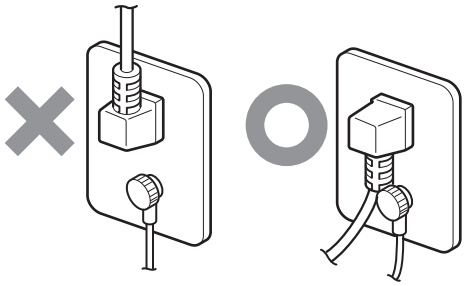
給水ホース、排水ホースが破損し、水漏れの原因になります。

2 電源コード・アース線の接続

①アース線をアースターミナルに接続してください。

②電圧が100V であることを確認してから、埋め込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。

※200V 電源に差し込むと、瞬時に故障します。



（図42）

⚠注意

■電源プラグはコードが下方向に出るようコンセントに差し込む

コードが上方向に出ますと、機器をビルトインしたとき、コードが傷つくことがあります。

⚠警告

■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

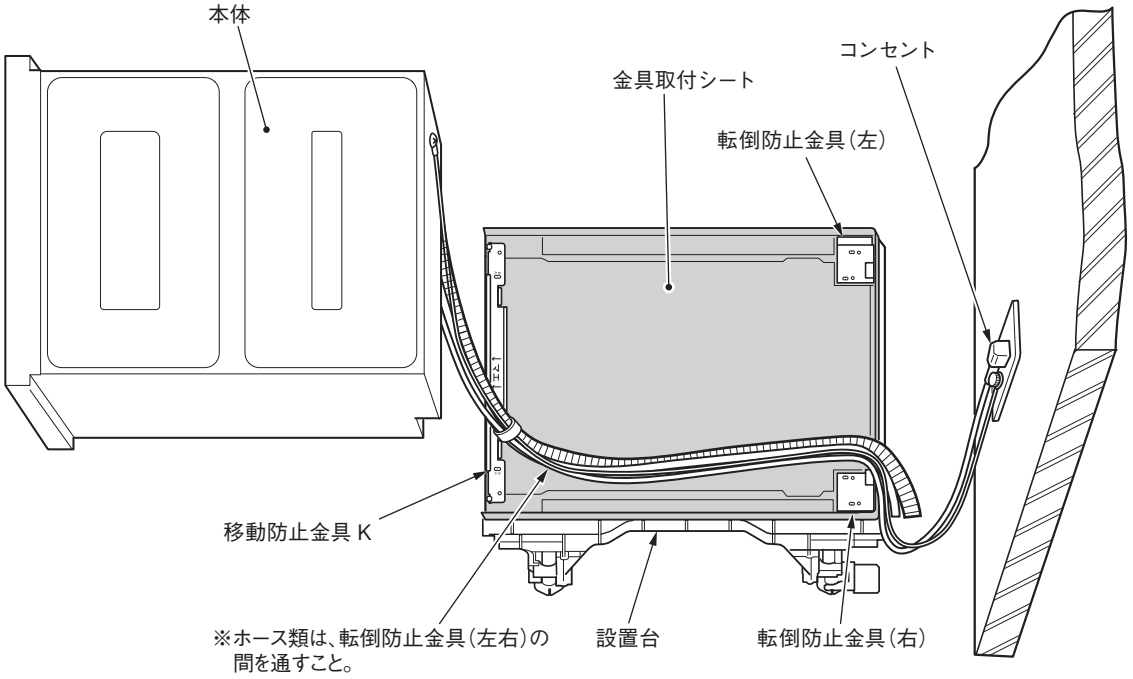
感電やショートして発火することがあります。

■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

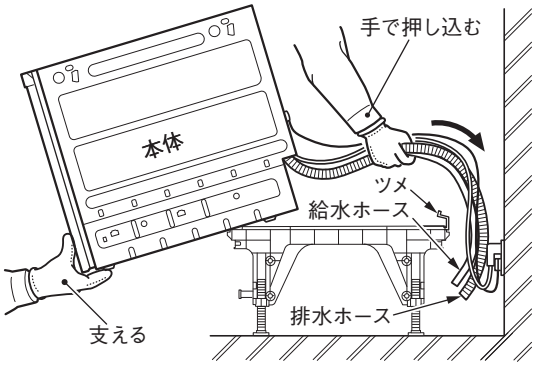


（図43）

3 本体のビルトイン

①本体の後脚を設置台に乗せ、前に傾けた状態で給水ホースと排水ホースを転倒防止金具の左右の間から設置台の下側に挿入する。(図44)

※挿入する前に、転倒防止金具のツメが変形していないか確認してください。



(図44)

お願い

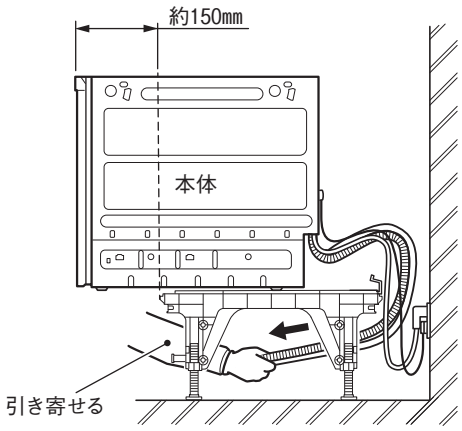
◉ドアや前枠を持たず､必ず本体下面の両端または、側面を手で支えてください。

※本体下面の中央部を支えると、本体下面が変形し（上に反り)、ドアを引き出す際に、水槽下面と本体下面が干渉するおそれがあります。

◉給・排水ホースが折れ曲がらないように、設置台の下側に挿入してください。

②本体を設置台の上をすべらしながら押し込んでください。設置台前面から約150mm ぐらい押し込みを残した位置で設置台の下側に手を入れて給水ホースと排水ホースを手前に引き寄せてください。(図45)

※このときに、金具取付シートが変形しないように注意してください。

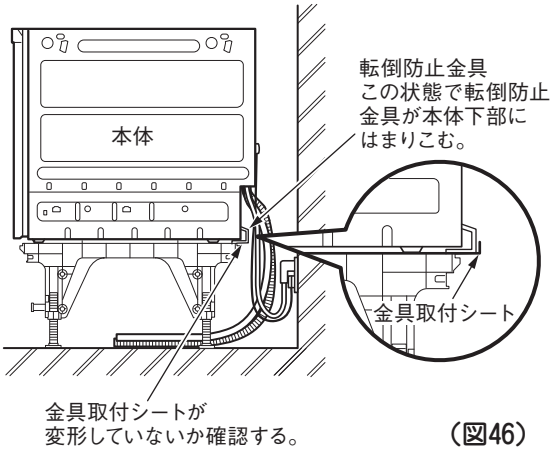


(図45)

③本体を押し込みましたら、後部の給水ホース、排水ホース、電源コードなどで金具取付シートが変形していないか、鏡などを使用して確認してください。(図46)

お願い

◉隣接する機器などに注意して本体中央をゆっくり押してください。



(図46)

⚠注意

■水槽を開いて本体の出し入れをしない

水シール部が変動して水漏れが起きるおそれがあります。

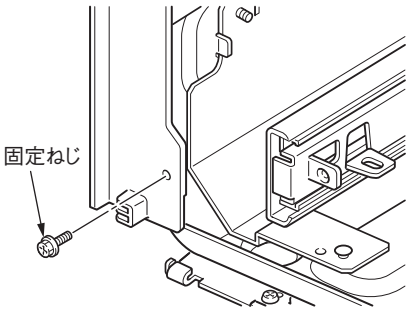
■給・排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない

給・排水不良の原因になります。

4 移動防止金具の取り付け

①ドアを少し引き出して本体手前（左右）下側の固定ねじを取りはずしてください。（④で再び使用します。）（図47）

※図47、48、49、50は見やすくするため、水槽など一部の部品を省略しています。

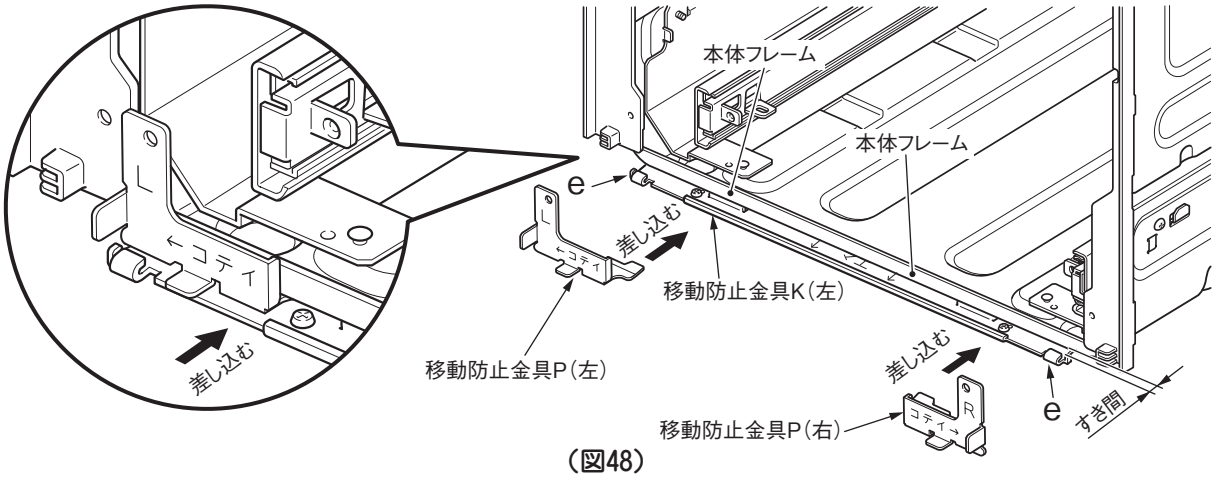


（図47）

②移動防止金具Ｐを本体と移動防止金具Ｋの間に差し込んでください。（拡大図Ａ）このときに、移動防止金具Ｐの先端とねじが干渉しないように少し傾けながら差し込むと作業が容易になります。（図48）

※移動防止金具Ｋの両端部ｅと本体フレームの間にすき間があるように、本体をきちんとキャビネットに納めてください。

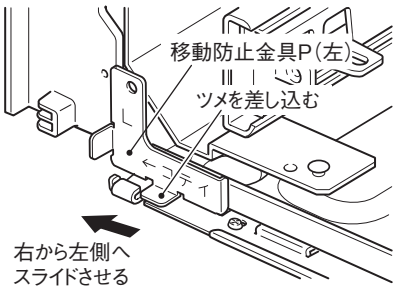
〔拡大図A〕



（図48）

③移動防止金具Ｐ（左）を右から左側へスライドさせて、ツメを差し込んでください。（図49）

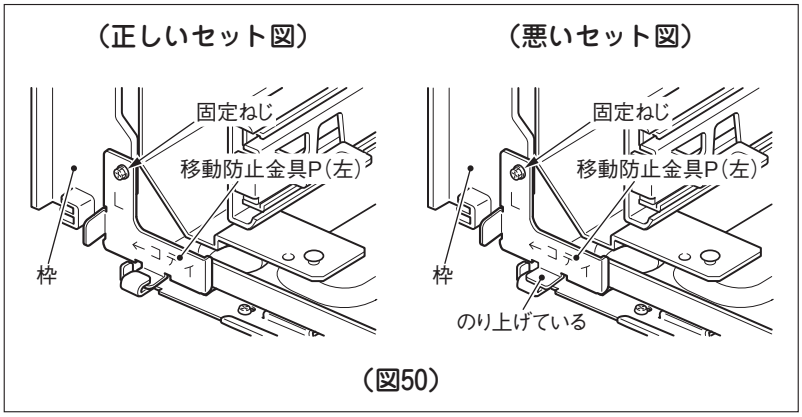
※本体が設置台の奥までセットされていないと金具が取り付けにくくなります。奥まで本体をセットしてから作業をしてください。



（図49）

④移動防止金具Ｐを①で取りはずした固定ねじで枠に固定してください。（図50）

⑤移動防止金具Ｐ（右）も同様の手順で取り付けてください。



（図50）

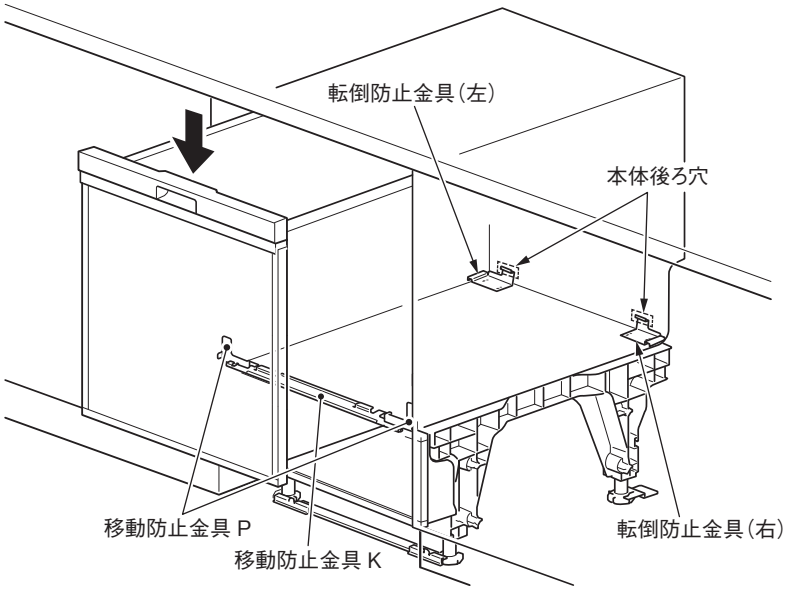
お願い

◉必ず移動防止金具Ｐの取り付け作業を実施してください。

※作業をしないとドアの開閉により本体が手前に移動して設置台から落下するおそれがあります。また、無理に取り付けると、異音の原因や枠が変形してドアが完全に閉まらないことがあります。

5 転倒防止金具・移動防止金具の確認

①ドアを引き出して、移動防止金具Kと移動防止金具P（左右）が正しく取り付けられているか確認してください。
※手前に本体がずれて出てくる場合は、移動防止金具が正しく取り付けられていません。
②本体手前を下に押し付け、奥側が設置台から浮き上がらないことを確認してください。（図51）
※浮き上がる場合は、転倒防止金具が正しく取り付けられていないか、転倒防止金具が本体後ろ穴にセットされていません。

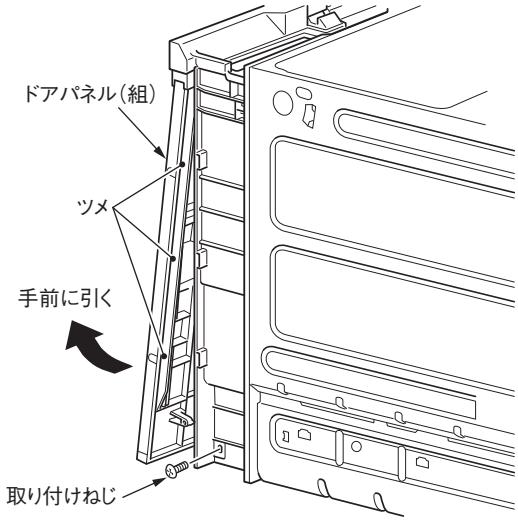


（図51）

6 化粧パネル・面材の取り付け

化粧パネルの取り付け

（パネルは別売品です）
①ドアを少し引き出し、左右下部の取り付けねじ（各１本）をはずしてください。
ドアパネル左右のツメを外側へ軽く開き手前に引くと、ドアパネル（組）がはずれます。（図52）
※ツメを外側へ開きすぎると、破損するおそれがあります。



（図52）

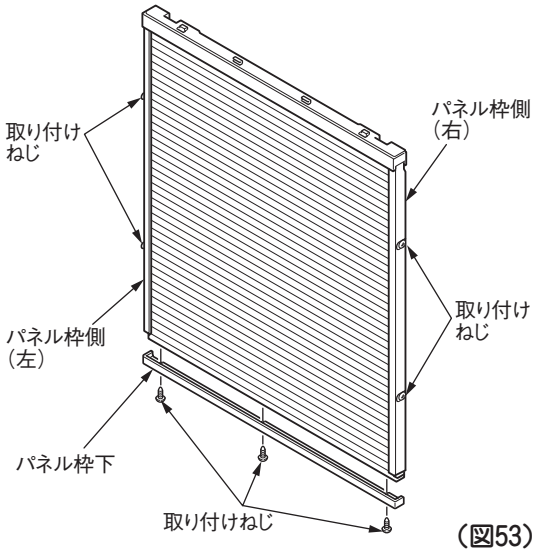
②パネル枠下の取り付けねじ（３本）をはずしてパネル枠下をはずしてください。（図53）

⚠注意

■先にパネル枠（左右）を無理にはずさない

破損の原因になります。

③パネル枠側（左右）取り付けねじ（各２本）をはずしてパネル枠側（左右）をはずしてください。（図53）



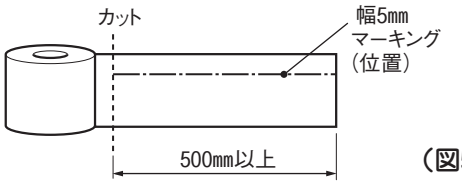
（図53）

④化粧パネルの防水処理を下記の方法で必ず実施してください。

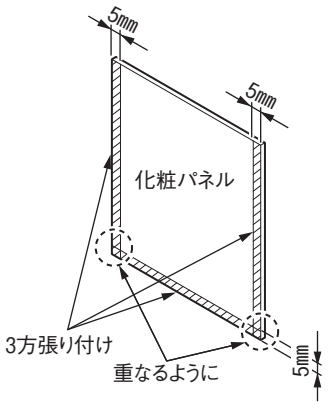
⑴幅50mm の離型紙付アルミ粘着テープ（現地調達品）を準備してください。

⑵500mm 以上で少し長めにカット（３枚用意してください。）した後、硬めのシャープペンシルなどで幅 5 mm の位置にマーキングしてください。（図54）

⑶アルミ粘着テープの離型紙をはがし、マーキング跡にパネル表面側（化粧面）下端を合わせてセットし張り付け、（幅 5 mm を表面側に張り付ける。）あまりはそのまま木口面、裏面側へと張り付けてください。化粧パネルからハミ出た部分は切り取ってください。（図55）



（図54）



（図55）

お願い

◉アルミ粘着テープの表面側は、 5 mm 幅を必ずお守りください。

◉アルミ粘着テープを張り付ける際は、シワのないように張り付けてください。

⑷同様に左右 2 カ所も行ってください。このとき下端と重なる角は、アルミテープをそのまま重ねて張り付けてください。（図55）

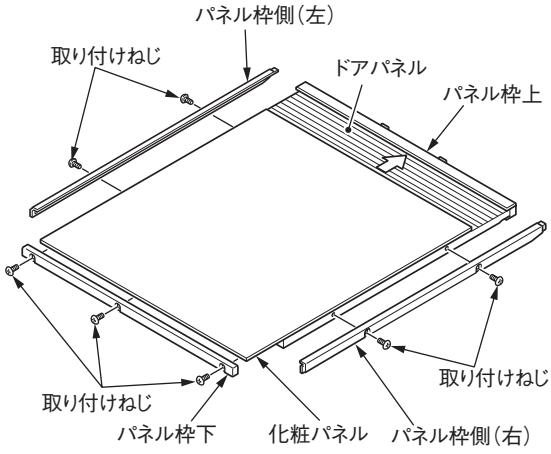
⑤化粧パネルをパネル枠上のすき間に挿入して、化粧パネルを押し付けながらパネル枠側（左右）を取り付け、取り付けねじ（各 2 本）で締め付けてください。（図56）

⑥パネル枠下を取り付け、取り付けねじ（３本）で締め付けてください。（図56）

⚠注意

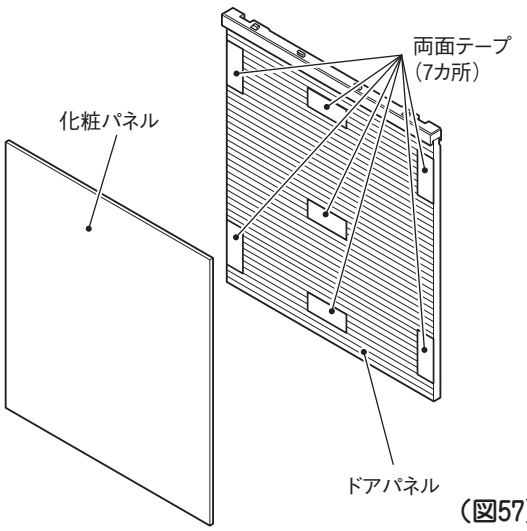
■電動ドライバーは使用しない

パネル枠（樹脂）が変形するおそれがあります。



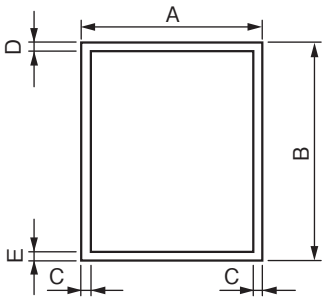
（図56）

※化粧パネルの厚みによっては化粧パネルが浮くことがありますので、両面テープ（現地調達品）でドアパネルに仮付けしてください。（図57）



（図57）

化粧パネルの寸法



（図58）

（単位：mm）

	寸　法
A	433± 1
B	489± 1
C	6.5
D	6.5
E	8.5

⑦はずしたときと逆の手順でドアパネル（組）を取り付けてください。

※必要に応じてキャビネットとの下側のすき間を約 4 ～ 8 mm の範囲で調節できます。

パネル枠上の取り付けねじ（2 本）をゆるめ上下にスライドさせて調節してください。その際、ドアパネルの桟を目安に、パネル枠上が左右均等になるように固定してください。（図60）

⚠注意

■電動ドライバーは使用しない

パネル枠（樹脂）が変形するおそれがあります。

面材の取り付け

（面材は別売品です。）

①面材に下穴が開いていない場合は右図の位置に下穴を開けてください。（図61）

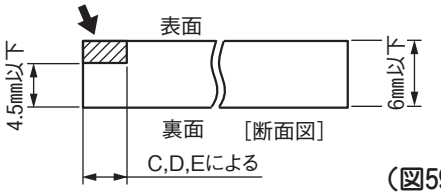
②面材の下穴が開いている位置に付属の取り付けフック（上 2 個、下 2 個）を「外側」の刻印の矢印に従って、ねじ（ 先トガリねじ：8 本）で取り付けます。（図62）

⚠注意

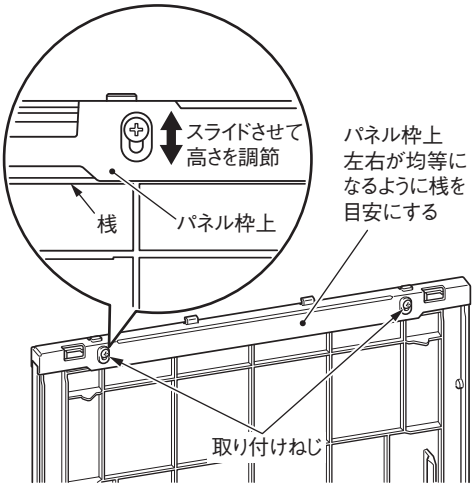
■電動ドライバーは使用しない

取り付けねじの頭や面材が使用できなくなり、固定できなくなるおそれがあります。

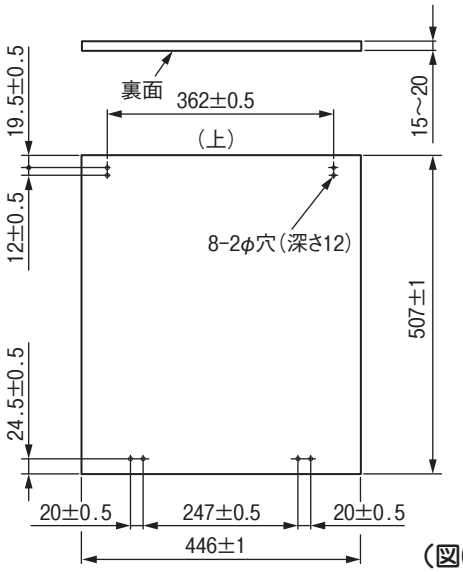
厚さ4.5mm を超えるパネルをご使用になる場合は、外周（斜線で指定した部分）の表面を、厚さ4.5mm 以下になるようにけがき線を入れ、斜線部を削り取ってください。ただし、6 mm を超えるパネルは使用できません。



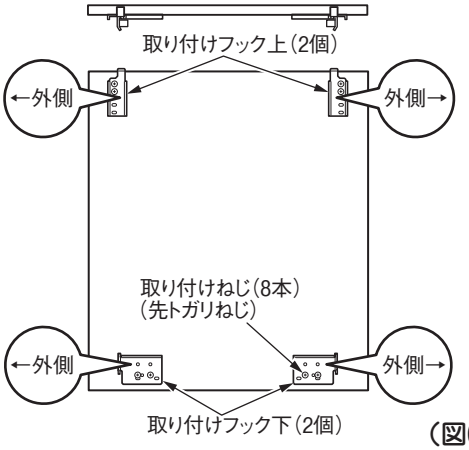
（図59）



（図60）



（図61）



（図62）

水槽への取り付け

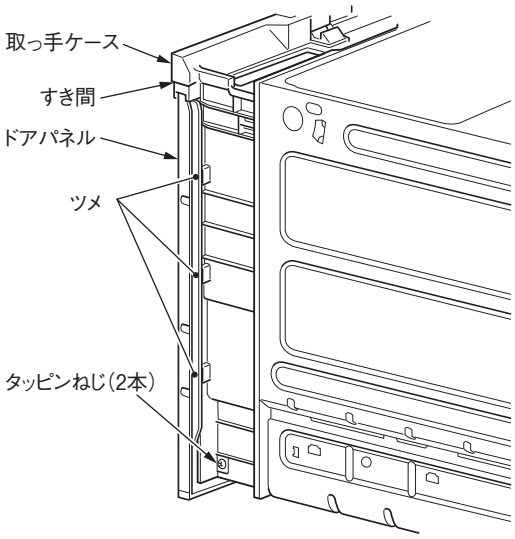
①ドアパネルまたは面材を持ち上げながらねじ(タッピンねじ：2本）で固定し、取っ手ケースとのすき間がないか確認します。（図63）

※ドアパネルの場合は、左右のツメを水槽にかけてください。

⚠注意

■電動ドライバーは使用しない

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



（図63）

②面材の場合は、キッチンのドアの出代が揃っているかを確認してください。

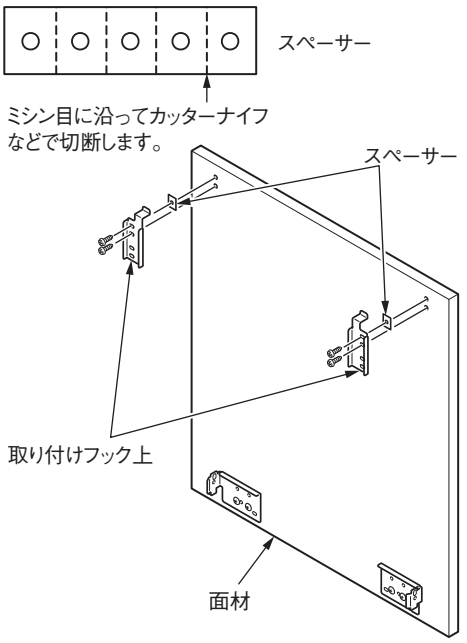
面材が奥まっている場合

◉スペーサーで調整を行ってください。（図64）

※調整は1枚（1mm）までにしてください。

面材下部が出っ張っている場合

◉背面に電源コードなどがかみ込んでいないか確認してください。



（図64）

③面材の場合は、下端と隣接するキャビネットのドア下端が合っているかを確認してください。

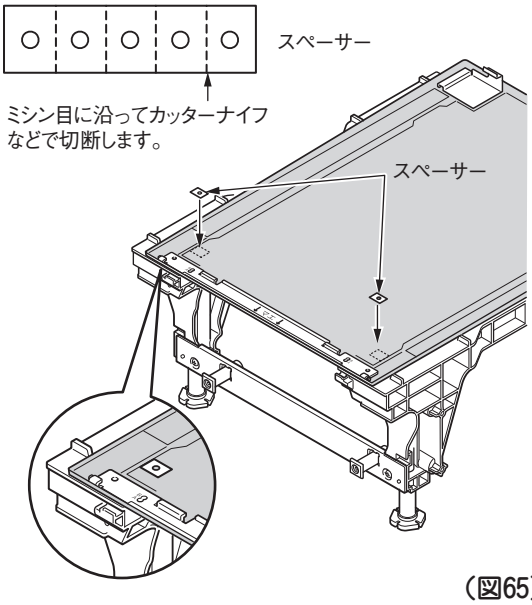
面材が低い場合

◉移動防止金具Pを取りはずします。

◉本体を持ち上げて、設置台と本体の間にスペーサーを入れて高さ調整を行ってください。（図65）

※調整は1枚（1mm）までにしてください。

◉調整後、取りはずした移動防止金具Pを取り付けてください。



（図65）

7 給水（給湯）管との接続

◉止水栓（ハンドル式固定ゴマタイプ）にフィルター付パッキンを入れ給水ホースを確実に締め付けてください。（図66）

お願い

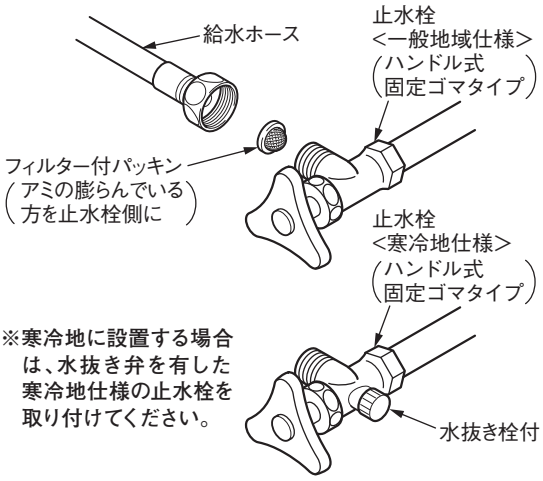
◉ナットは手で軽く締めこんだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。

※適正な締め付けトルクは5～10N・m（50～100kgf・cm）です。

⚠注意

■フィルター付パッキンは必ず所定の位置に取り付ける

※図はアングル型止水栓を使用した場合です。



（図66）

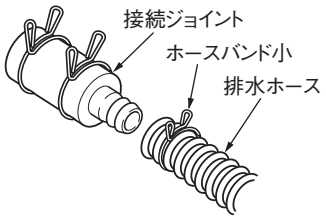
8 排水管との接続

◉接続ジョイントと排水ホースを接続します。（図67）
（ホースバンド小は排水ホースに取り付けてあります。）
次に、排水管（HT20）の先端から25mmのところに目印のラインを付けます。
その後、排水管（HT20）に接続ジョイントをラインまで挿し込み（接続ジョイントを挿し込みすぎないでください。）、ホースバンド大で固定してください。（図68）
この時、排水ホースは給湯（給水）管や、給水ホースの上を通るように配管してください。（図69）

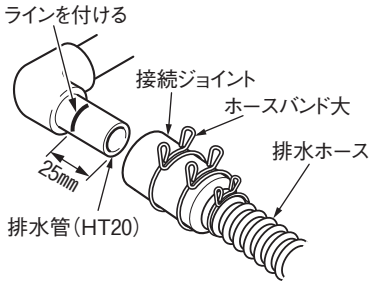
⚠注意

■排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない

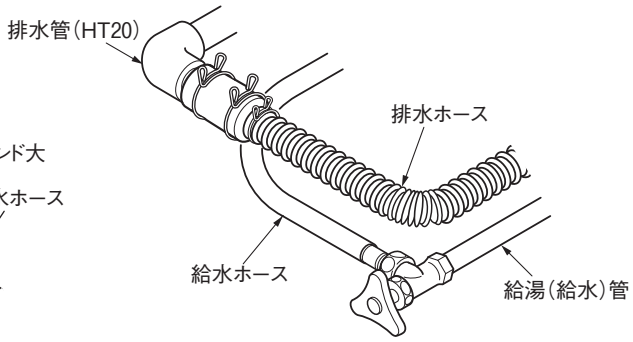
水漏れ・排水不良の原因になります。



（図67）



（図68）

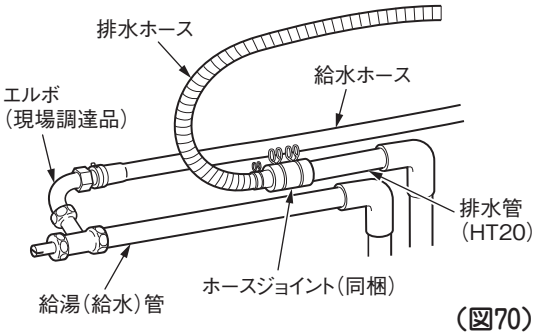


（図69）

フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機から買い替えの場合

◉既設の給湯（給水）管や排水管（HT20）を使用して、本機の給水ホース・排水ホースに無理な力がかからないように接続することも可能です。（図70）

※給水ホース接続時はエルボ（現場調達品）などを使用して接続してください。



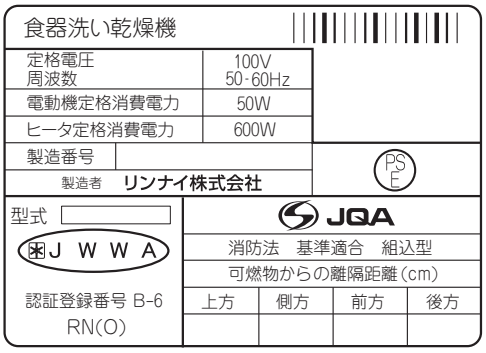
（図70）

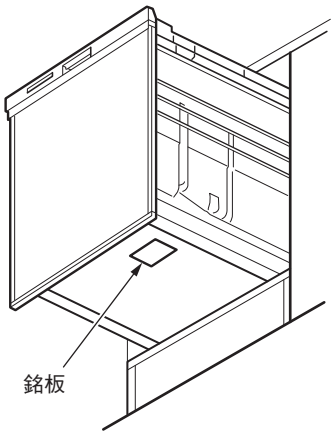
9 設置後の点検

チェックリスト				
点検		点検内容	参照ページ	チェック
その周辺機器および	電源（電圧）	銘板表示と使用電源が適合していますか。	7ページ	
	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。 異音はありませんか。 キッチン開口寸法、転倒防止金具、移動防止金具の取付位置は正しいですか。	5ページ 6ページ 15ページ 20ページ 21ページ	
	金具取付シート 転倒防止金具 移動防止金具	金具取付シートおよび、転倒防止金具、移動防止金具は取り付けましたか。	14ページ 15ページ 16ページ 20ページ 21ページ	
給湯（給水）・排水接続	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	8〜10ページ	
	フィルター付パッキン	給水ホースと止水栓との接続部にフィルター付パッキンを挿入しましたか。	25ページ	
	排水ホース	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	19ページ 25ページ	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A のアースターミナル付埋め込みコンセントに接続しましたか。	7ページ	
		アース線を接続しましたか。	7ページ	

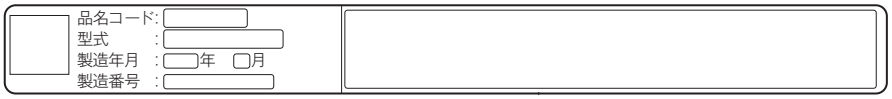
※点検・修理の際には製造番号の確認が必要になることがあります。
製造番号は、銘板またはあんしん点検銘板に表示してあります。

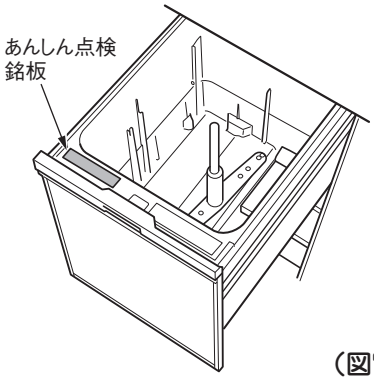
〈銘　板〉





〈あんしん点検銘板〉





（図71）

10 試 運 転

※試運転の前に必ず他の水栓より数リットルの水を流して、配管内のさびなどを流してください。

■次の手順で試運転を行ってください

□①止水栓を開きます。

□②食器かごを水槽内から取り出します。

※試運転の時に配管内のさびが食器かごに付着するおそれがあるためです。

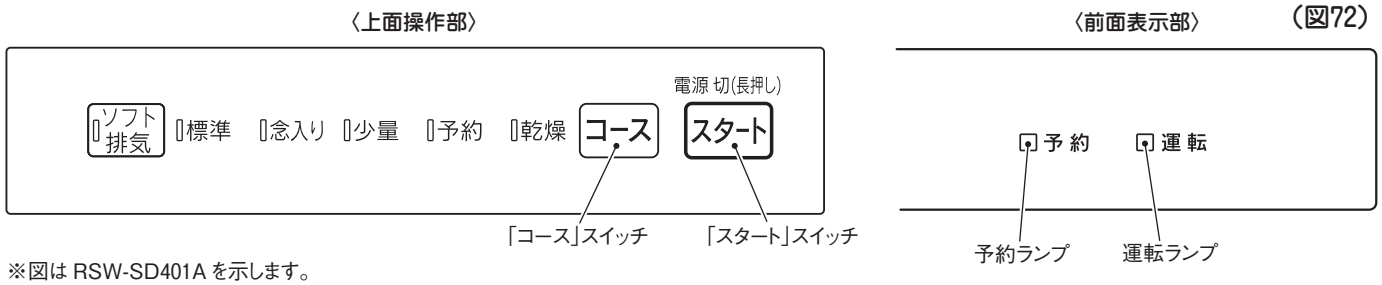
□③ドアを少し開けます。

□④電源が「切」になっているか確認します。電源が「入」の場合は、「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。

□⑤「コース」スイッチを押しながら、「スタート」スイッチを10秒以内に5回押します。(このときブザーが「ピピッ」と鳴り、前面表示部の予約ランプが点滅します。)

□⑥「スタート」スイッチを押します。(前面表示部の運転ランプが点滅します。)ドアを閉じます。

「試運転」コースが開始し(前面表示部の予約ランプと運転ランプが点滅から点灯に変わります。)、約3分間で終了します。



(図72)

※図は RSW-SD401A を示します。

□⑦次の確認を行ってください。

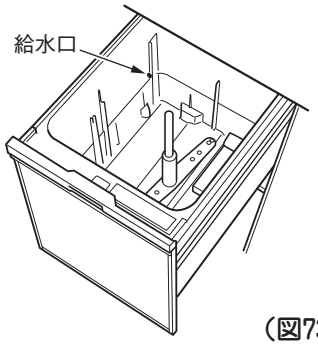
◉一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら水槽内のノズルが回転します。

(噴射音:バシャバシャ音が聞こえるか確認してください。)

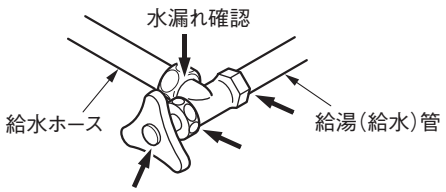
※試運転は、運転が終了するまで確実に行ってください。途中で停止させないでください。

※試運転が20分以上かかる場合は、フィルター付パッキンに異物が付着している可能性があります。フィルター付パッキンをはずして掃除してください。

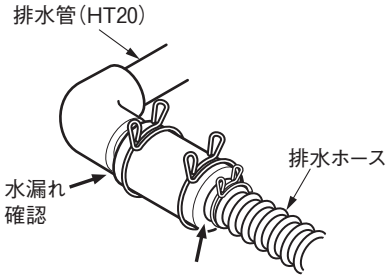
※運転中に次ページの異常報知が表示された場合は、表示内容に対応した処置を行ってください。



(図73)



(図74)



(図75)

◉運転が終了するとブザーが鳴り、ランプが全て消灯し、電源が「切」の状態になりますので、運転終了を確認後、ドアを開けてください。(水槽内の水が排水されていることを確認してください。また運転中給排水接続部からの水漏れがないことを充分確認してください。)

◉電源が「切」の状態で、ドアを開き、水槽内の給水口から水が出ていないことを確認してください。

□⑧食器かごを元どおりセットしてください。

11 異常報知について

◉安全装置作動時は、「ピーピーピー」とブザーが鳴って、上面のコースランプが点灯・点滅します。下記内容を確認してください。

上面操作部	原　　因	処　　置
（点滅）標準／予約／乾燥	**泡センサー作動**	◉ドアを開け、給水口から水がでていないか確認する。（27ページの図73参照）水がでている場合は、水道栓を閉めてください。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ◉配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
（点滅）念入り／乾燥	**過熱防止センサー作動**	◉高温の水を給湯した時に起こります。 ◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
（点滅）ソフト排気／乾燥	**水検知センサー作動**	◉水漏れのおそれがあります。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ◉水道栓（元栓またはキャビネット内の止水栓）を閉めてください。 ◉配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
（点滅）予約／乾燥		
（点滅）標準／ソフト排気／乾燥	**スタートスイッチの故障**	◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
（点滅）標準／乾燥 **（点灯）ソフト排気／念入り**	**水位センサー作動**	◉ドアを開け、給水口から水がでていないか確認する。（27ページの図73参照）水がでている場合は、水道栓を閉めてください。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ◉配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
（点滅）ソフト排気／念入り／乾燥	**過熱防止センサーの故障**	◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
（点滅）標準／乾燥	**水検知センサーの故障**	◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
（点滅）乾燥 **（点灯）念入り**	**ヒーターの故障**	◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
（点滅）標準／ソフト排気／予約	**給水弁の故障**	◉ドアを開け、給水口から水がでていないか確認する。（27ページの図73参照）水がでている場合は、水道栓を閉めてください。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ◉配電盤のブレーカは OFF にしないでください。

上面操作部	原　　因	処　　置
（点滅）標準／乾燥 **（点灯）予約**	**給水検知機能作動**	◉電源を「切」にする。 ◉断水の場合は、断水の回復を待って運転する。 ◉水道栓（元栓およびキャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ◉フィルター付パッキンに付着している異物を除去する。
（点滅）標準／念入り／乾燥	**排水検知機能作動**	◉電源を「切」にする。 ◉排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。（折れぐせがついている場合は直す。）
（点滅）標準／ソフト排気 **（点灯）予約**	**乾燥ファンの故障**	◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
（点滅）標準／ソフト排気／念入り	**洗浄排水ポンプの故障**	◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
（点滅）乾燥 **（点灯）標準**	**電子部品の故障**	◉部品が故障しています。 ◉至急お買い上げの販売店にご連絡ください。

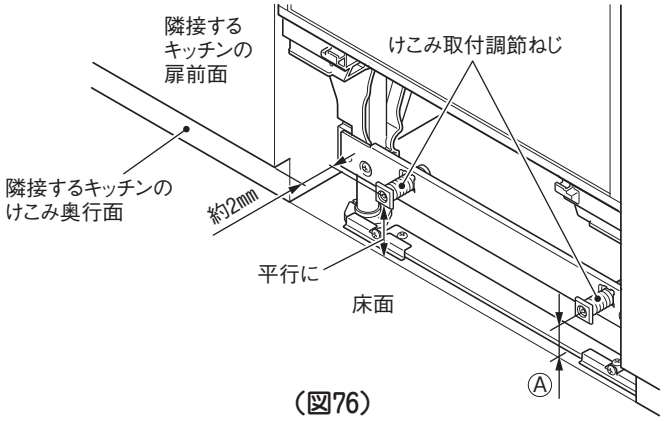
※「スタート」スイッチを押さずにドアを閉めると、「ピーピーピー」と鳴ります。その際は「スタート」スイッチを押して、ドアをゆっくりと閉めてください。

12 けこみカバーの取り付け

1 けこみカバーの取り付け

①けこみ取付調節ねじ（左右 2 カ所）の前面が、隣接するキッチンのけこみ奥行面より約 2 mm 奥まった位置になるように調整してください。（図76）

◉この時、けこみ取付調節ねじの頭部の四角の一辺を床面と平行にします。（けこみ取付調節ねじは90°回すごとに出代が約 1 mm 変わります。）



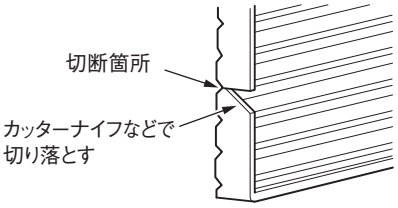
（図76）

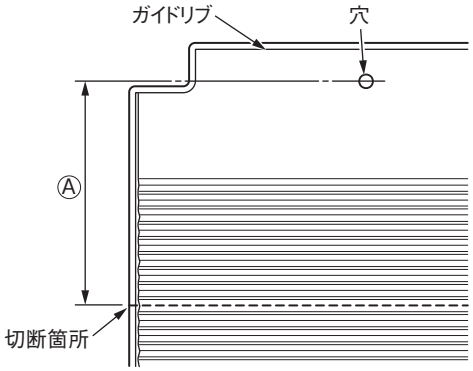
②同梱のけこみカバーを裏面の V 溝にそってカッターナイフなどで切断します。樹脂カッターを使用すれば容易にカットできます。（図77）

※キッチン高さにより、切断箇所が異なります。

◉床面とけこみ取付調節ねじの穴の中心の高さⒶを測り、Ⓐの長さに合わせてけこみカバーを切断します。

※左右のリブは下図のように切断してください。





（図77）

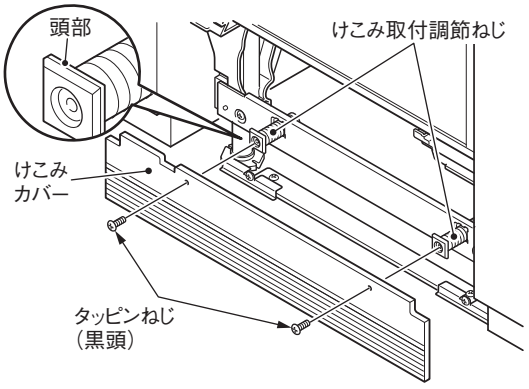
③切傷防止のため、カッターナイフなどで切断面の端面処理をしてください。

④裏面のガイドリブ（図77参照）にけこみ取付調節ねじの頭部をあて、ねじで締め付けます。（図78）

お願い

◉必ずビルトイン後にけこみカバーを取り付けてください。床面と接触し浮き上がる原因になります。

◉けこみカバーが浮き上がっている場合は、Ⓐの長さより短めに切断して取り付けてください。



（図78）

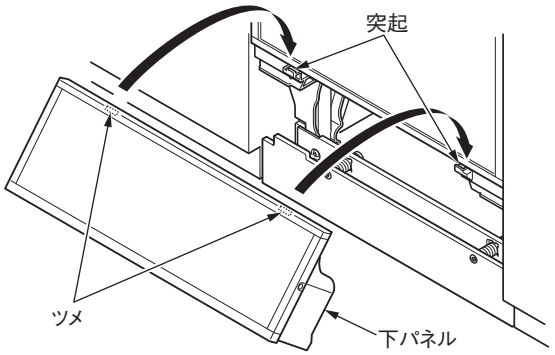
⚠注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。

2 下パネルの取り付け

①面材またはパネルを取り付けた下パネルのツメを設置台の突起にはめ込み、カチッと音がするまで下方を押して取り付けます。(図79)

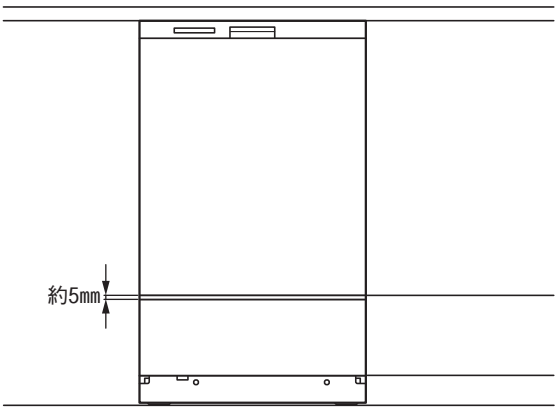


(図79)

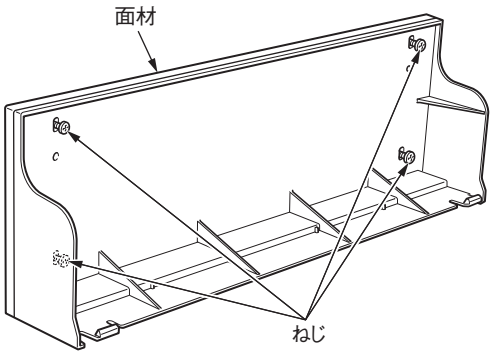
②面材の場合は、取り付けた上下の面材のすき間（約 5 mm）が確保されているか確認してください。(図80)

高さ・すき間が合っていない場合

◉下パネルを取りはずします。
（取りはずし方法は15ページの図37参照）
◉取り付けているねじ（ 4 カ所）をゆるめます。(図81)
◉面材を上下方向に動かし、適正な位置に調整します。
◉調整終了後、再び下パネルを取り付けます。



(図80)



(図81)

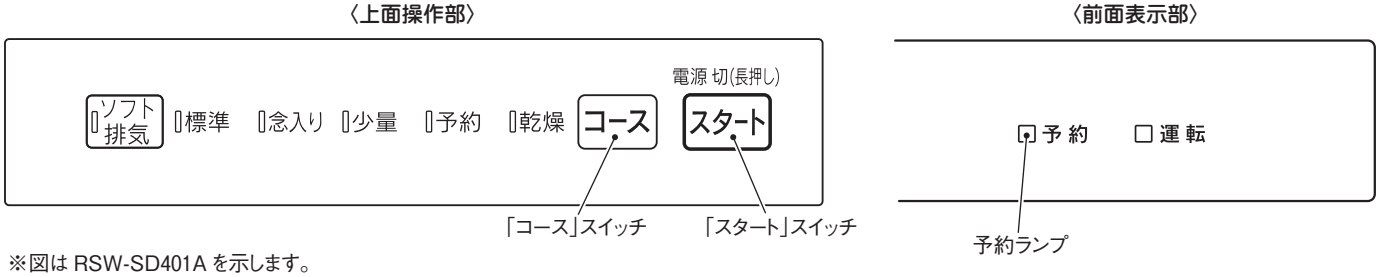
13 冷却排水の設定

◉排水管が耐熱仕様ではない場合に、冷却排水の設定をしてください。（本管に至るまでの枝管が VP 管の場合など）

設定方法

①ドアを少し開けます。
②電源が「切」になっているか確認します。電源が「入」の場合は、「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。
③「コース」スイッチを押しながら、「スタート」スイッチを10秒以内に 5 回押します。（このときブザーが「ピピッ」と鳴り、前面表示部の予約ランプが点滅します。）
④「コース」スイッチを 5 秒間押しつづけます。
ブザーが「ピピピピピッ」と鳴り、冷却排水が設定されます。
⑤上記の設定が完了すると、前面表示部の予約ランプが点灯します。
⑥「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。

（図82）



※図は RSW-SD401A を示します。

※工場出荷時の設定は、冷却排水なしになっております。
設定を変更するには、上記作業を再度行います。
（このときブザーが「ピピッ」と鳴り、予約ランプが消灯します。）

14 お客様への説明

■設置事業者様へ

●取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
●保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って、「保証・サービス」について説明してください。

お客様への取り扱い説明

◉取扱説明書にそって製品の取り扱いを説明してください。

冷水の排水行程の設定方法

①給湯配管をした場合は、給湯器のメリットを出すために冷水の排水行程を設定していただくことをお客様へおすすめしてください。

冷水の排水行程：最初から最適な給湯温度でお湯を供給し、短時間で食器の洗浄を行うため、配管中にたまった冷たい水を排水する行程です。

設定方法

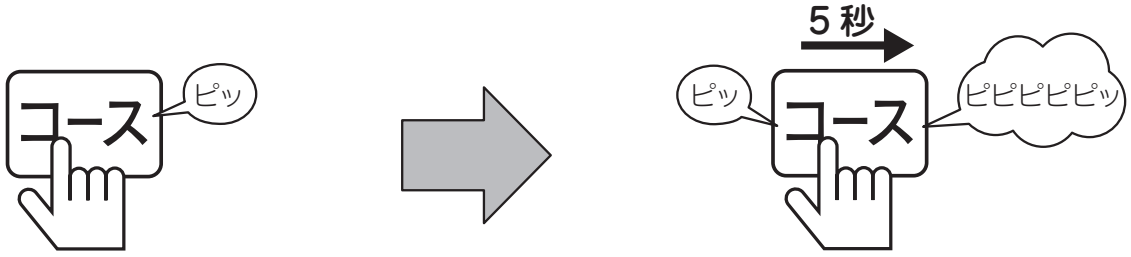
ⅰ）ドアを少し開けます。

ⅱ）電源が「切」になっているか確認します。
電源が「入」の場合は、「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。

ⅲ）「コース」スイッチを数回押して「念入り」コースを選択します。

ⅳ）「コース」スイッチを 5 秒長押しします。
（このとき「念入り＋乾燥」コースになりますが、そのまま押し続けてください。）

ⅴ）「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。



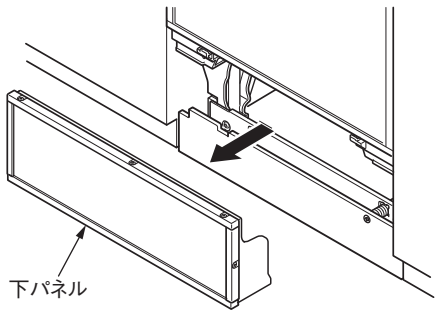
ブザーが「ピピピピピッ」と鳴り、冷水の排水行程が設定されます。

②冷水の排水行程を取り消したいときは上記の操作を再度行ってください。（「ピピッ」とブザーが鳴ります。）

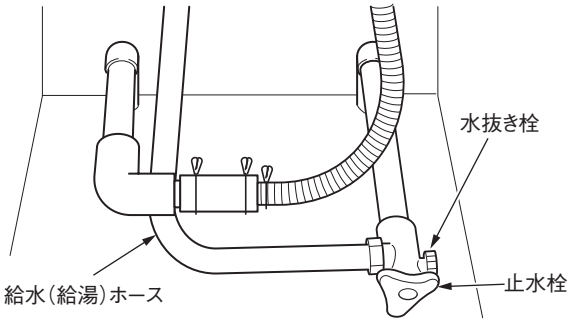
寒冷地において冬季長期間使用しない場合の水抜き方法

①下パネルを取りはずします。（図83）

給水（給湯）ホースが、止水栓に図84のように接続されています。

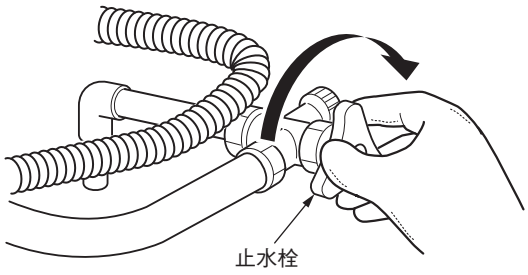


（図83）



（図84）

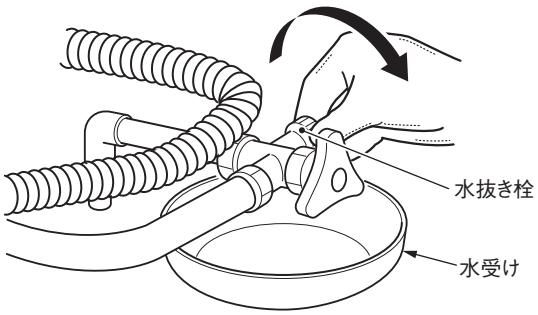
②止水栓を閉じます。（図85）



（図85）

③水抜き栓の下に水受けを置き、水抜き栓を取りはずします。（図86）

※水受けは約100mL が受けられる皿またはトレーなどを準備してください。（高さ25mm 以下）



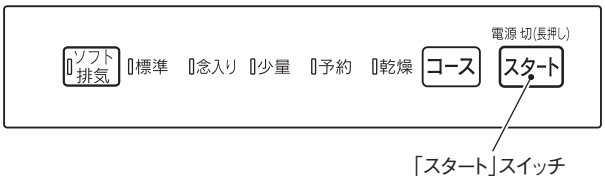
（図86）

④「スタート」スイッチを押して、電源を「入」にします。

⑤コースは「乾燥」以外を選択してください。

⑥ドアをゆっくり閉めて、運転をスタートします。
（運転がスタートして約50秒後に給水弁が開放されます。）

〈上面操作部〉

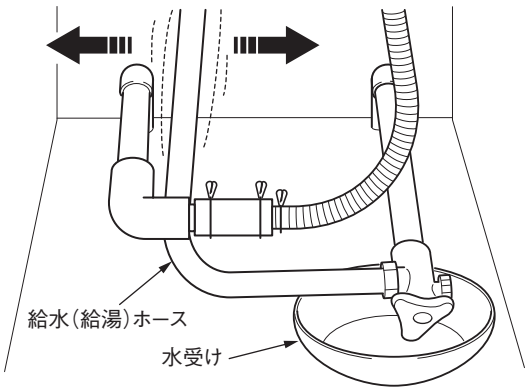


※図は RSW-SD401A を示します。

（図87）

⑦給水（給湯）ホースを左右に振ったり、軽くたたいたりして衝撃を与えます。（図88）

⑧水受けに残水が排出されたあと、水抜き栓開口部に乾いた布を押し当て、水滴が落ちなくなるまで内部の水を吸い取ります。



（図88）

⑨「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にし、排出水を処理します。

⑩③ではずした水抜き栓を取り付けます。

※止水栓は再度使用するまで、閉じたままにしてください。

⑪下パネルを取り付けます。

⚠注意

■水抜き時に取りはずした水抜き栓は必ず取り付ける

◉水槽内に食器かご、小物入れが入っていることを確認してください。取扱説明書はお客様に渡してください。

◉保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

15 仕　様

型式		RSW-SD401A RKW-SD401A RKW-SD401AM RWX-SD401A RSW-SD401UA RWX-SD401UA	RSW-SD401AE RSW-SD401UAE
電源電圧		AC100V	
周波数		50Hz または60Hz	
定格電流		6.5A	
消費電力	洗浄モータ	50W	
	ヒータ	600W	
	最大消費電力	650W	
外形寸法		（幅）448mm ×（奥行）626mm ×（高さ）753～853mm	
質量		21.5kg	
水圧		0.03～1 MPa（0.3～10kgf/cm²）	
洗浄方式		回転ノズル噴射式	
すすぎ方式		ためすすぎ方式	
乾燥方式		ヒータとファンによる強制排気乾燥	
庫内容積		63L	
標準収納容量		大皿　6点 中ばち　7点 小皿　9点 茶わん　7点 吸物わん　6点 湯のみまたはコップ　12点 はし　6組 スプーン　6点 フォーク　6点	大皿　4点 中ばち　5点 小皿　8点 茶わん　4点 吸物わん　4点 湯のみまたはコップ　12点 はし　4組 スプーン　4点 フォーク　4点

※電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を作動させるため、約1W 電力を消費しております。

（工場管理）
JW0021-821×03（00）
260500A
07000008079860

この紙は再生紙を使用しています。